

2024年度 学生便覧(履修ガイド)

工学部

在学中保存

※2024年4月時点の内容を掲載しています。
内容に変更がある場合は、公式ホームページ
または、CHUKYO ALBO等にて案内します。

はじめに

履修や試験などについて掲載。

1	大学からのお知らせ	2
2	授業担当教員からのお知らせ	3
3	授業の取扱い・教務センター	4
4	履修登録(春学期・秋学期共通)	6
5	時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法	8
6	試験	9

7	追試験	10
8	レポート	11
9	不正行為・義務違反・研究倫理	12
10	成績・単位認定	13
11	卒業・留年	15

教育課程と資格課程

学部のカリキュラムや卒業要件、取得できる資格などを掲載。
必ず確認してから、履修登録をしてください。

1	教育理念・教育目標	18
2	カリキュラム概念	22
3	授業科目区分と単位制度	23
4	進級要件と卒業要件	24
5	全学共通科目一覧表	25
6	全学共通科目について	26
7	学部固有科目一覧表(機械システム工学科)	30
8	履修モデル(機械システム工学科)	31
9	学部固有科目の履修について (機械システム工学科)	32
10	学部固有科目一覧表(電気電子工学科)	34
11	履修モデル(電気電子工学科)	35
12	学部固有科目の履修について (電気電子工学科)	36
13	学部固有科目一覧表(情報工学科)	38
14	履修モデル(情報工学科)	39
15	学部固有科目の履修について(情報工学科)	40
16	学部固有科目一覧表(メディア工学科)	42
17	履修モデル(メディア工学科)	43
18	学部固有科目の履修について(メディア工学科)	44
19	学修相談・指導について	46
20	全学開放科目について	47
21	単位互換に関する包括協定の案内	48
22	資格課程	49
23	教職課程	50
24	電気主任技術者	55
25	電気通信主任技術者	56

26	無線従事者	57
27	電気電子工学科関連資格の取得方法	58
28	教育課程表一覧	60
29	正規留学生の全学共通科目について	68
30	履修計画表	69

建学の精神

梅村学園の建学の精神の要約は「**学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ**」である。すなわち学術の場では**学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する**。スポーツの場では**健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する**。スポーツマンシップは**イズジェントルマンシップ、スポーツマンシップとはルールを守る、ベストを尽くす、三チームワークをつくる、四相手に敬意を持つ**の**四大綱**を内容とする。

このような**精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としても**まことに望ましい人間である。

このような**教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する**。

梅村学園はこの**建学の精神を教育の基盤**として**永遠に堅持高揚を期する**。

一九八八年二月十八日

学校法人 梅村学園

総長 梅村 清明



建学の精神

「校訓・建学の精神」

校訓と建学の精神は、学校開設にあたって、次代を担う人材の育成を願い、創立者がその理念と気概を示したものです。わが国の教育で大きな役割を果たしている私立学校は、それぞれの校訓・建学の精神に基づいて教育活動を展開、個性豊かな教育の場として発展してきました。

梅村学園の校訓は、1923年(大正12年)、学校法人梅村学園の母体である中京商業学校の開校にあたり、創立者の梅村清明がその理念と気概をうたい上げたものです。また、中京大学が四年制大学となった1956年(昭和31年)に初代学長の梅村清明が建学の精神として具体化し、この精神は時代を超え、中京大学・中京大学附属中京高校に脈々と受け継がれています。

「建学の精神の四大綱」について

中京大学の創立者であり、初代学長の梅村清明(初代梅村学園理事長)は、建学の精神にうたわれた「**学術の場**」と「**スポーツの場**」のあり方について、次のように示しました。

「学術の場では**学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する**」。

学問に真摯、真剣に取り組むよう求めたうえに、男性も女性も人間としての**人格陶冶**が教育の理念であることを掲げました。大学が学術の殿堂、すなわち、知の集積拠点として教育・研究両面でその役割を高めていくことが目標であることはいうまでもありません。

「スポーツの場では**健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する**」。

スポーツ各競技の技の向上をめざし、精神力を鍛錬するだけにとどまらず、**スポーツマンシップ**として、1)ルールを守る、2)ベストを尽くす、3)チームワークをつくる、4)相手に敬意を持つ、の**四大綱**の体得を求めました。そして、「**このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である**」として、「**このような教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する**」と、建学の精神を時空を超えた教育理念として堅持する気概を示しました。

1 大学からのお知らせ

問合せ先 教務センター／情報センター

大学からの連絡事項は、主に中京大学公式ホームページ、大学Webシステム「CHUKYO ALBO」を通じて行われます。

また大学Webシステム「CHUKYO MaNaBo」を通じて、履修している授業ごとの連絡が授業担当教員から直接行われることもあります。在学中はこれらに毎日目を通し、大学や教員からのお知らせを随時確認してください。

■お知らせの種類と手段

	中京大学公式ホームページ	CHUKYO ALBO	CHUKYO MaNaBo
台風等緊急時における授業等のお知らせ	○	×	×
大学全体に関するニュース	○	×	×
授業の休講・補講・教室変更	×	○	○
授業担当教員からの連絡	×	×	○
学生生活に関するお知らせ	○	○	×

中京大学公式ホームページ

URL <https://www.chukyo-u.ac.jp/>

個人ではなく不特定多数の方を対象にした情報を伝達します。

■スマートフォンからのアクセス

スマートフォンからは、次のURLもしくはQRコードからアクセスしてください。

URL <https://www.chukyo-u.ac.jp/student-staff/>



■中京大学公式ホームページトップページ



ポータルシステム「CHUKYO ALBO」

「CHUKYO ALBO」とは、授業履修方法や休講・補講・教室変更に関する情報、奨学金・キャリアイベント・留学等も含めた学生生活全般に関する情報の他、個別の学生呼び出し等、大学からの様々なお知らせを伝達する大学Webシステムです。

またCHUKYO ALBOは、各種学生サービス(CHUKYO MaNaBo、m.mail等)を利用するための入口ともなります。さらに学生情報登録(変更)・履修登録・時間割・成績確認等もCHUKYO ALBOを通して行います。

対応期限が定められた重要なお知らせも、このCHUKYO ALBOを通じて随時届きます。在学中は毎日ログインし、見落としがないよう、必ず内容を確認するようにしてください。

■利用可能時間

CHUKYO ALBOの利用可能時間は6:00～27:00です。

■CHUKYO ALBOのログイン方法

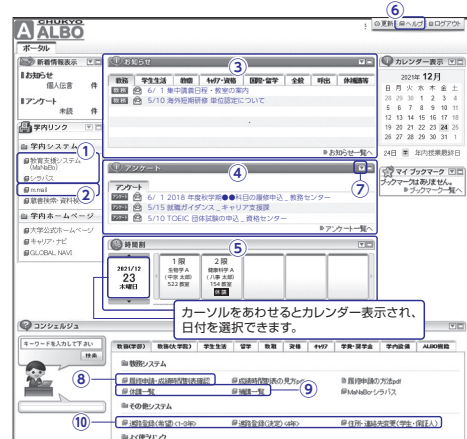
ログイン方法 ログインには中京大学全学ID(CU_ID)が必要です。

STEP 1 「中京大学公式ホームページ」⇒「在学生の方」
⇒「在学生メニュー」⇒「CHUKYO ALBO」をクリック

STEP 2 「ログイン(PC版)」よりログイン

スマートフォンで「CHUKYO ALBO」を利用する際は、「ログイン(スマートフォン版)」ボタンか「QRコード」からログインしてください。
※スマートフォン版からは履修登録できません。

CHUKYO ALBOトップ画面について



- CHUKYO MaNaBo・シラバス**
こちらから各種学生サービスを閲覧できます。
- m.mail**
学生用メールシステム「m.mail」が確認できます。
- お知らせ**
各項目のタブを選択すると、画面が切り替わります。
- アンケート**
各部署からのアンケートを確認できます。30分間操作をしない場合セッションタイムアウト(時間切れ)となります。
- 時間割**
当日の時間割を確認できます。「休講」「補講」も確認できます。教室変更の場合、「授業変更」のアイコンが表示されます。
- 画面説明・操作方法**
こちらからヘルプを参照ください。
- 履修申請・成績時間割表確認**
履修登録はここから行います。成績や時間割の確認もここをクリックします。
- 休講一覧・補講一覧**
今後の休講・補講の一覧を確認できます。
- 進路登録(希望)(1～3年)**
進路登録(決定)(4年)
住所・連絡先変更(学生・保証人)
こちらから行います。

2 授業担当教員からのお知らせ

問合せ先 授業担当教員 / 情報センター

教育支援システム「CHUKYO MaNaBo」

CHUKYO MaNaBoは、中京大学の教育支援システムです。オンラインによる授業受講で使用されるほか、授業担当教員からCHUKYO MaNaBoのお知らせを通じて受講方法や課題等に関する指示がなされる場合がありますので、授業期間中は毎日確認するようにしてください。

CHUKYO MaNaBoでできること

- オンラインでの授業受講
Webを利用して教材参照、レポート提出、小テスト受講、授業担当教員とのメール連絡等を行うことができます。
- 授業担当教員からのお知らせの確認
授業担当教員からの受講者への連絡(課題提示、試験に関する案内、休講等)を確認することができます。
- 授業以外での利用
学部・学科内の連絡ツール、授業改善のためのアンケート、卒業論文の提出、追試験申請、成績問合せ申請等を行うことができます。

CHUKYO MaNaBo利用時間

CHUKYO MaNaBoの利用時間は、6:00~27:00です。

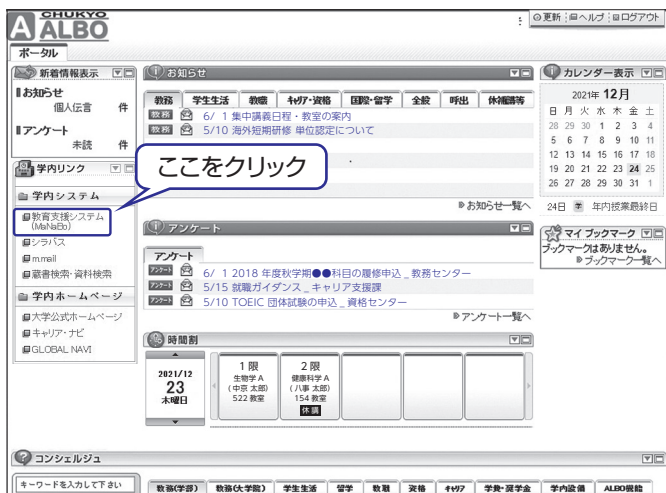
動作推奨環境

	OS	ブラウザ
パソコン	Windows 10以上 macOS 12以上	Google Chrome / Microsoft Edge / Mozilla Firefox
スマートフォン/ タブレット	iOS 15以上 Android 12以上	Safari 15以上 Google Chrome 105以上

複数タブでの利用には対応しておりません。また、パソコンとスマートフォンなど2つ以上の端末からの同時利用にも対応しておりません。このような利用を行うと、授業の受講時にトラブルが発生する可能性があります。注意してください。

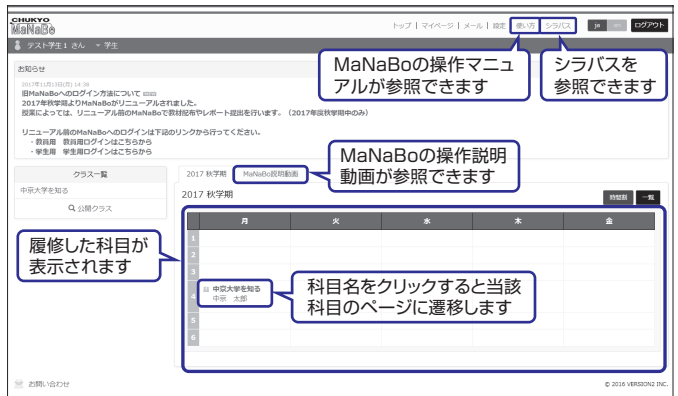
MaNaBoのログイン方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→教育支援システム(MaNaBo) にアクセスします。



CHUKYO MaNaBo画面説明

学生トップ画面



※課題や資料など新着情報のある科目には「NEW」のアイコンが表示されます。

メール通知を設定しましょう!

よく使うメールアドレスを登録しておくことで各種お知らせなど重要な情報が自動配信されます。利用者自身でメールアドレスを登録する必要があります。CHUKYO ALBO Mailに登録することでMaNaBoにも同じメールアドレスが登録されます。

- 授業2週目までは休講・補講・教室変更の情報が送信されない場合がありますので、CHUKYO ALBO画面で確認してください。
- 中京大学の学生ひとりに1つ与えられる「m.mail」のメールアドレスの登録を強くお奨めします。

CHUKYO ALBOの利用ができる端末と情報の一覧

利用端末 情報の種類	パソコン	スマートフォン等
お知らせ	○	▲
申込 (アンケート)	○	○
休講・補講 教室変更	○	○

○ …… 参照することができます。

▲ …… スマートフォン等の機種によって、添付ファイルやURLリンクを参照できない場合があります。

※登録したメールアドレスに届くCHUKYO ALBO Mailでは、発信部署、タイトル、内容が配信されますが、一部内容が参照できない場合があります。詳細は必ずCHUKYO ALBOで確認してください。

パソコン動作保証環境

OS : Windows 10, 11

ブラウザ : Google Chrome Microsoft Edge

複数タブでの利用には対応しておりません。

Apple社製OSでの動作保証はしてありません。

3 授業の取扱い・教務センター

問合せ先 教務センター

授業実施方法

授業実施方法は、「面接授業」と「遠隔授業」に分類され、授業科目によって異なります。

各授業の実施方法は、シラバス、時間割表、CHUKYO MaNaBo で確認することができます。

【面接授業】	対面での授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上が対面での授業)
【遠隔授業】	オンラインでの授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上がオンラインでの授業)

授業時間(1時限90分)

授業時間はキャンパス毎に時間帯が異なります。

時限	キャンパス	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
1		9:00~10:30	9:30~11:00
2		10:45~12:15	11:10~12:40
3		13:10~14:40	13:30~15:00
4		14:55~16:25	15:10~16:40
5		16:40~18:10	16:50~18:20

時限	キャンパス	名古屋キャンパス
A		9:00~10:00
B		10:10~11:10
C		11:20~12:20

教室番号の見方

教室は番号又はアルファベットで表示しています。

建物の場所については中京大学公式ホームページのキャンパスマップを確認してください。

《基本的な表示方法》

4	3	1	0	7	A	0	8	1	0
号館	階	通番	号館	階	通番	号館	階	通番	

《一部例外》

2	1	1	2	1	6	4	1	A
号館	階	通番		号館	階	通番		

緊急時における授業等の取扱い

気象警報			
気象庁より愛知県下(東三河北部及び東三河南部を除く)に暴風警報※1、特別警報※2、のいずれかが	発令されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない)午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講については、16時以降(16時を含む)に解除の場合、休講	
発令された場合		直ちに授業を中止し、学生はすみやかに下校してください。	
南海トラフ地震			
地震情報の発表時	発令又は招集されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない)午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講については、16時以降(16時を含む)に解除の場合、休講	
招集された場合		直ちに授業を中止し、学生はすみやかに下校してください。	
法定伝染病、テロ等その他の災害			
暴風、大雨、大雪、又は地震による災害以外の災害(法定伝染病、爆破宣言、テロ、二次災害等)が発生し、本学諸活動に支障があると判断した場合は、その都度、掲示・全学一斉放送・中京大学公式ホームページ等で指示する。			
交通ストライキ			
JR東海、名鉄及び名古屋市内地下鉄のうちいずれか一つがストライキを行っている場合	発令されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない)午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	全時限休講	

※1 暴風警報には暴風雪警報も含まれます。

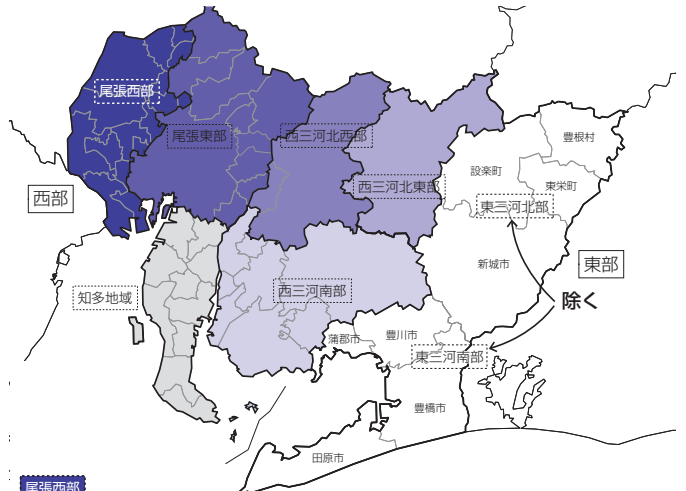
※2 特別警報のうち、大雨特別警報、暴風特別警報、暴風雪特別警報、大雪特別警報のいずれかを対象とします。

※3 公共交通機関の運休などの影響が出ることが想定される場合、気象庁から暴風警報等の発令がなされる前に、休講等の措置をとることがあります。

注意 1. 上記の取扱い事項は、定期試験期間中及び集中講義期間中も適用されません。

2. 上記の取扱い事項は、オンデマンド型の遠隔授業等については、原則として適用されません。ただし、一部科目や授業の継続が困難な場合は休講となる場合があります。

3. 緊急時における休講は中京大学公式ホームページでお知らせします。



尾張西部

一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋、弥富市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村

尾張東部

名古屋市、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町

西三河西部

豊田市西部、みよし市

西三河東部

豊田市東部

西三河南部

岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町

知多地域

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、岡久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

授業の欠席

本学には忌引・公欠の制度はありません。欠席する場合は、直接、授業担当教員に申し出て指示に従ってください。授業欠席の取扱いについては、授業担当教員に一任されています。なお、以下の点に注意してください。

■30日以上欠席した場合

病気・ケガ(診断書が必要)等、その他正当な理由により授業を30日以上欠席した場合は、教務センターで所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、教務センターへ提出してください(代理提出可)。

■教育実習・介護等体験の場合

教育実習等の履修にかかわる事情で授業を欠席する場合は、教務センター(教職支援係)で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、当該科目の担当教員に提出してください。

■就職活動の場合

就職活動や企業訪問等のために授業を欠席する場合は、その旨を事前に当該科目の担当教員に申し出てください。キャリア支援課や教務センターでは公欠願の証明等は一切していません。

休講

授業は、担当教員の都合により休講となる場合があります。休講については、原則としてCHUKYO ALBOで案内します。^注
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。▶▶▶P3参照
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

補講

休講となった授業科目は原則振替授業として補講を行います。補講の実施日時・場所については、CHUKYO ALBOで案内します。^注
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。
 ※補講が設定された日時において、別の授業の補講が重なる場合があります。担当教員に相談してください。▶▶▶P3参照
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

教室変更

対面による授業実施科目に教室変更が生じた場合は、CHUKYO ALBOで案内します。^注
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。▶▶▶P3参照
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

^注 休講・補講・教室変更などのお知らせがある場合は、CHUKYO ALBOにて連絡しますので随時確認してください。授業2週目までは、休講・補講・教室変更の情報はメール送信されない場合があります。CHUKYO ALBO「休講一覧」「補講一覧」又はCHUKYO ALBOトップ「時間割」画面にて確認してください。

教科書について

問合せ先:中京大学生協同組合

■新入生

教科書の販売方法は、「学内特設会場での新入生向け一斉販売」を予定しております。販売日、販売時間等につきましては、生協ホームページで詳細をご案内します。

※感染症等の状況により販売方法がWeb注文→宅配になる可能性があります。

詳細は、中京大学生協ホームページでご案内します。

URL <https://www.univcoop-tokai.jp/chukyouniv-coop/>



■在学生

教科書の購入期間があります。中京大学生協のホームページの教科書購入案内を確認の上、購入してください。

教務センターについて

■教務センターの主な業務

1. 履修登録に関すること
2. 授業及び休講・補講・教室変更に関すること
3. 試験に関すること
4. 成績・卒業見込証明書をはじめとした各種証明書の発行に関すること
5. 進級・卒業に関すること
6. 教職課程に関すること
7. 司書・司書教諭をはじめとした各種資格課程に関すること
8. 研究生・科目等履修生の願書受付に関すること

■開室時間と場所

場 所	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
	5号館1階	1号館1階
開室時間	平日	9:00~17:00
	土曜日 (補講実施日のみ)	9:00~12:30

※閉室日については、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)を確認してください。

教務センターへの問合せ

教務センターの業務に関することについて問合せをする場合は、以下の点に注意してください。

教員への連絡には応じられません。

教員への連絡はCHUKYO MaNaBoのメール機能を通じて行ってください。専任教員の研究室については、中京大学公式ホームページの研究室一覧を確認してください。

教員の電話番号やメールアドレスなど、個人の情報については一切教えられません。

電話による学生呼び出し・照会には、一切応じられません。

大学では、学生一人ひとりの所在について把握していません。したがって電話口への取り次ぎや学内放送は一切行いません。家族や友人に周知しておいてください。

友人の住所等は教えられません。

プライバシー保護の観点から、友人の住所等については一切教えられません。

4 履修登録(春学期・秋学期共通)

問合せ先 教務センター

履修登録

履修登録とは、各自で時間割を作成し、履修しようとする授業科目をパソコンを用いて登録することです。以下資料(①～④)を使用して、時間割を作成します。

履修登録時に使用する資料

① 学生便覧(履修ガイド)※本冊子

② 時間割表(中京大学公式ホームページで参照)

春学期・秋学期と各学期の時間割を作成する際に使用します。授業科目の「曜日時限」や「担当教員」などが記載されています。在学生へは3月中旬頃に中京大学公式ホームページにPDFで掲載します。所属学部の時間割に記載されている科目が、ご自身の履修可能科目になります。

③ シラバス(中京大学公式ホームページで参照)

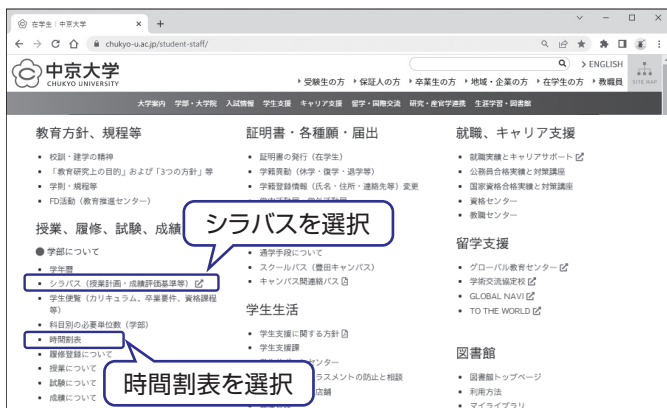
インターネットから閲覧することができ、履修登録をする際に、授業内容等を確認するための重要な資料です。授業概要、目的、学修到達目標、授業方法、成績評価方法・基準、教科書・教材・参考文献や授業計画などが記載されています。

④ 履修計画表(中京大学公式ホームページからダウンロード)

CHUKYO ALBOで履修登録をする際に、時間割を組み立てるためのフォーマットです。
※最終ページに掲載しています。

シラバス及び時間割表の参照方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→シラバス又は時間割表にアクセスする



※シラバスはALBOからも参照することができます。

中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→シラバスにアクセスする



参照可能時間

シラバスの参照可能時間は、6:00～27:00です。

シラバスのトップ画面

履修登録の注意事項

- 卒業要件や授業内容を考慮し、慎重に履修科目の検討をしてください。
- 必ず履修登録期間・時間内に登録作業を行ってください。期間内であれば変更可能です。登録の日程については、中京大学公式ホームページの学年暦を確認してください。なお、日程については、変更の可能性があります。詳細な日時については、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内しますので、必ず確認してください。
- 履修登録修正期間中に、正しく履修登録できているかを確認してください。
- 履修登録はパソコンにてCHUKYO ALBOを利用してください。スマートフォンからも可能な場合がありますが、動作保証の対象外です。
- 履修登録修正期間を過ぎて科目の追加・取消を行うことはできません。

<中京大学教務規程>(履修登録関連抜粋)

第4章 履修登録

(履修登録の手続)

第12条 学生は、学期ごとに履修する授業科目について、履修登録を行わなければならない。
2 履修登録をしていない授業科目は、単位を修得することはできない。

(履修登録の無効)

第13条 同一曜日時限に行われる複数の授業科目は、重複して履修登録してはならない。また、同一科目の同時履修や既に単位を修得した授業科目を再度履修することはできない。

(履修登録単位数の上限)

第14条 学期ごとに履修登録できる単位数は、各学部・学科の定めるところによる。

(履修登録の条件)

第15条 履修登録できる授業科目は、原則として入学年度ごとに定められた教育課程に設置されたもののみとする。
2 履修登録は、授業科目ごとに指定された履修可能な学年または班で行わなければならない。

(履修者数制限)

第16条 授業内容や施設等の状況によって、履修者数を制限することがある。

(履修登録期間)

第17条 履修登録は、学年暦に定める期間に行わなければならない。

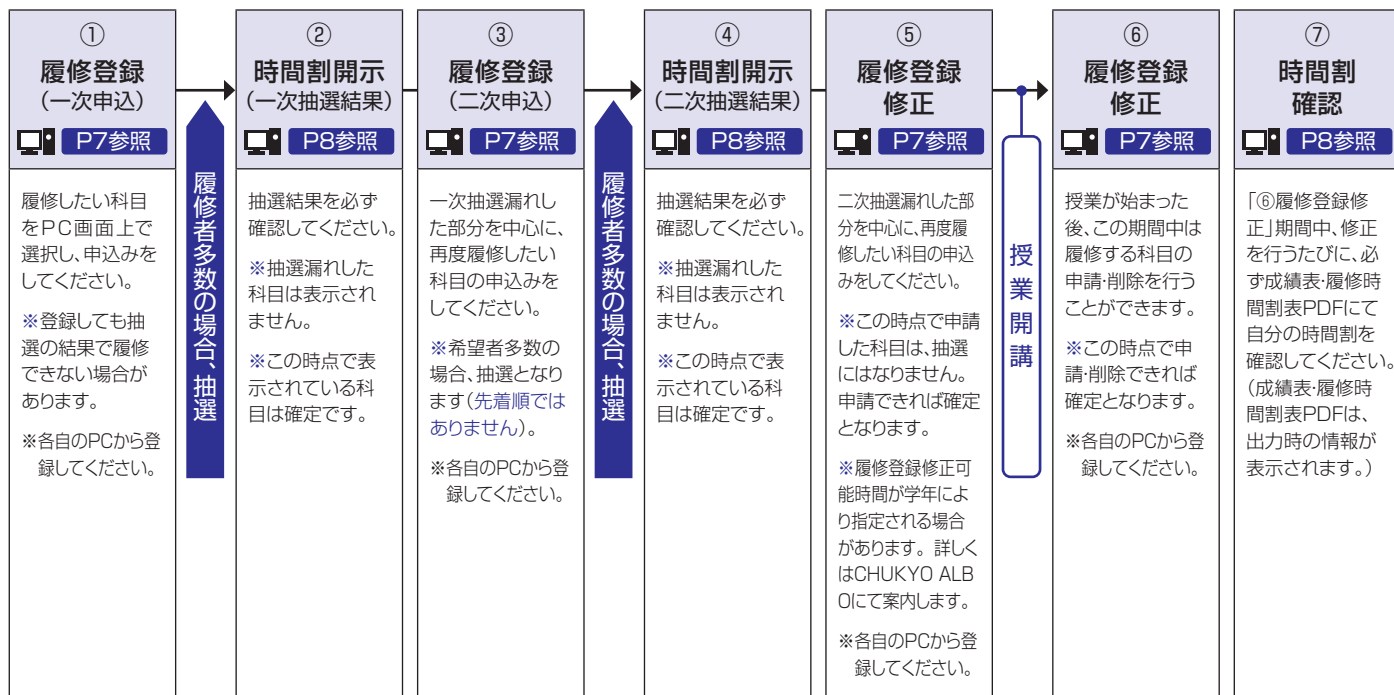
(履修登録修正)

第18条 履修登録後は、学年暦に定める履修登録修正期間に限り、履修登録の修正を認める。それ以外の期間については特別の理由のない限り履修登録の修正は認めない。

(履修登録取消)

第19条 負傷、疾病により長期にわたり履修が継続できない場合は、所定の期間に限り、履修登録の取り消しを認めることがある。

履修登録の流れ



履修登録方法

(1) CHUKYO ALBOから履修申請画面へ

「履修申請・成績時間割表確認」をクリック

(2) 曜日・時限を選択

希望の曜日・時限の「+」をクリック
集中講義科目は、ページ下欄の「集中・その他」の「+」をクリック

※ (2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備/個人情報の登録」をご確認ください。

(3) 科目を選択

① 履修する科目にチェック

② チェック後「選択」をクリック
※(2)～(3)の作業を繰り返します

(4) 科目の登録

① 全ての履修希望科目の選択が終了してから、「履修申請」をクリック
※クリック後、応答まで時間がかかります

② 完了画面が表示されます
「申請状況画面へ戻る」をクリック

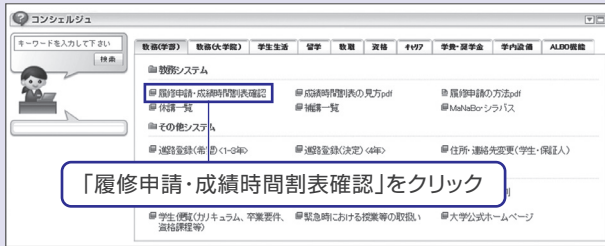
(5) 登録科目の確認

登録した科目の背景色が「黄色」⇒「オレンジ色」に変わります。科目により抽選があるため、申請時期によっては確定ではない場合があります。

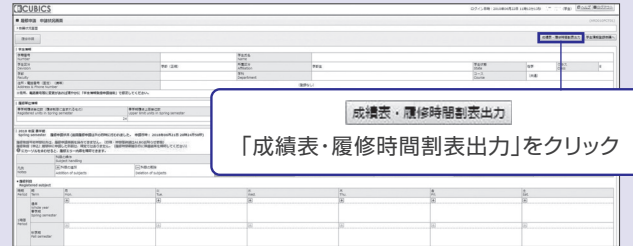
登録した科目・授業担当教員に誤りがないか確認し、終了したらログアウトしてください

時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法

(1) 成績時間割表確認画面へ



(2) 成績表・履修時間割表出力へ



※ (2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備／進路情報の登録」をご確認ください。

(3) 成績表・履修時間割表(PDF)の表示



閲覧できなくなる期間があります。

表示したらスクリーンショットを撮るか、プリントアウトするなどして保存してください。

① 単位修得状況欄

現在の履修・修得状況と、卒業に必要な各区分の単位数が表示されます。

② 履修単位数

履修中の単位数が表示されます。
通年科目は、2で割った数値が学期ごとの履修登録制限単位としてカウントされます。
例) 通年4 春期20 → 春は22単位としてカウント

③ 履修・修得科目一覧

現在履修している科目、これまでに履修した科目とその成績が一覧で表示されます。

④ 履修時間割表

登録している時間割が表示されます。
※出力時の情報が表示されます。
※時間割はMaNaBoでも確認可能です。
※集中講義科目は、右下「集中講義・その他」欄に表示されます。

⑤ GPA欄

トータルGPA及びセメスターごとのGPAが表示されます。

集中講義

教育効果を上げるため短期で行う授業のことです。開講科目・開講日時・場所については、時間割表又はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内します。履修登録を忘れずに行ってください。

遠隔授業の修得単位について

法令では、通学制大学の学部授業において、遠隔授業 ▶▶▶ P4参照 に位置づけられる授業で修得した単位は卒業所要単位のうち 60 単位までしか認められないこととされており、本学の学則第 51 条第 4 項にもその旨が定められています。履修しようとする授業が遠隔授業か否かはシラバスで確認できます。卒業所要単位のうち遠隔授業による修得単位数がどれくらいかは自身で管理する必要があります。

試験の種類

■定期試験

学年暦に定める定期試験期間に行う試験です。

■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

受験の条件

- 履修登録した授業であること。
- 当該授業の総授業回数の3分の2以上出席していること。
- 学費が納入されていること。

〈受験上の注意(対面による試験)〉

- 監督者の指示に従ってください。
- 一人おきに着席してください。
- 学生証を机の上に置いてください。学生証を持っていない場合は受験することができません。試験開始前までに学生支援課で仮学生証の発給を受けてください。
- 筆記用具及び持込を許可された資料等以外は全てカバンの中に入れてください。
- スマートフォンや携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。時計型のウェアラブル端末など時間を計る以外の機能を持った時計の使用も禁止です。また、ノートパソコン・タブレット等を使用することはできません。これらの機器の電源及びアラームを切ってカバンの中に入れてください。
- 机の上に文字・図形・符号等を書かないでください。また既に記載されていた場合は消してください。
- 遅刻者の入室は試験開始後20分まで認めます。それ以降の入室は認めません。
- 試験開始後30分を経過しなければ退室は認められません。なお、試験終了時まで再入室はできません。
- 退室する場合は他の学生の迷惑にならないよう静かに退室してください。
- 試験中の物品貸借や私語は禁止します。
- 答案の提出は必ず各自で行ってください。
- 答案は無解答でも提出してください。なお、試験場から外へ持ち出すことはできません。
- 病気・ケガ等で指定された試験場において受験できないと思われる場合は、あらかじめ教務センターへ申し出て指示を受けてください。
- 受験者以外は試験場内へ立ち入ることはできません。

試験時間帯〈1時限 60分〉

試験は、1時限60分です(定期試験・追試験共通)。

時限	時間(名古屋・豊田キャンパス共通)
1	9:30～10:30
2	11:00～12:00
3	13:00～14:00
4	14:30～15:30
5	16:00～17:00

A時限、B時限及びC時限の定期試験及び追試験を行う時間帯は、1時限又は2時限とします。

定期試験

■定期試験実施期間

定期試験は春学期と秋学期の年2回実施します。

■定期試験時間割

試験内容や実施方法は、授業担当教員から授業内又はCHUKYO MaNaBoより確認してください。

対面による定期試験を実施する授業科目の一覧を試験の約1週間前に発表します(中京大学公式ホームページ等にて公開)。

オンラインによる定期試験等を実施する授業もありますので、授業担当教員からの連絡を必ず確認してください。

※定期試験は、通常授業と異なる教室で行う場合があります。

※試験における持込参照物や試験範囲に関する発表は教務センターやCHUKYO ALBOでは行いません。授業中又はCHUKYO MaNaBoより授業担当教員からの連絡を確認してください。

※定期試験におけるレポート提出については「レポート」▶▶▶P11参照を確認してください。

追試験

■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

定期試験を正当な理由により欠席した場合は、追試験の申請を行ってください。

定期試験期間外の試験欠席については、各自で授業担当教員から直接指示を受けてください。

追試験を欠席した学生や不合格となった学生に対して、再度追試験は行いません。

《対象授業》

- ・定期試験期間中に対面による試験を実施した授業
- ・定期試験期間中にオンラインによる試験を実施した授業の中で追試験対象と指定された一部の授業(CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

※上記以外の授業で試験を受けられなかった場合は、授業担当教員に直接連絡してください。

※対象授業は変更となる可能性があります。

《手続方法》

欠席した当該授業の試験日の翌日から数えて7日以内に、CHUKYO MaNaBoから申請してください。(申請方法の詳細はCHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

《CHUKYO MaNaBoで提出する書類》

欠席理由・欠席日を証明できる書類(下記参照)の画像データ

※書類に学籍番号と氏名を明記してください。

《受験資格》

欠席理由が以下の①～⑥のいずれかに該当するものを認めます。

欠席理由	必要書類
①公共交通機関の事故・故障等による不通又は遅延	公共交通機関の発行する事故・遅延証明書
②病気又は負傷	医療機関の発行する診断書 ※欠席した期間が記載されているもの
③親族(3親等以内)の死亡又は葬儀	死亡診断書の写し又は葬儀日程のわかる文書
④本学の代表として出場する競技大会又は全国レベル以上の大会への出場	当該大会のプログラム又は参加を証明する文書
⑤就職活動における筆記試験又は面接試験等	試験日等を明示した文書等 ※選考に影響しない、企業説明会、インターンシップは追試験申請の対象となりません。
⑥その他、正当な理由として教授会が認めた事項	受験できなかった理由を証明する文書又は証明可能な書類

※自家用車を利用して遅延した場合は、証明することができないため、欠席や遅刻理由として認められませんので注意してください。

※パソコンの故障や通信障害などの事由による申請は認めません。

パソコンの動作確認を試験前に必ず行ってください。

《実施日》

実施期間は、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

実施有無・日時・試験方法は、CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内します。実施する場合、日時は原則、「授業と同じ曜日・時限」を適用します。

※授業により必ずしも実施するとは限りません。

《評価》

通常評価(S・A・B・C・D・F)となります。

レポートの種類

1. 授業中に課題として提出するレポート
2. 試験に代わるレポート
3. 単位申請の課題として提出するレポート

作成にあたっての禁止事項

1. 他人の著作物やWeb上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述してはいけません。
2. 他人が作成したレポートを自分のものとして提出してはいけません。
3. 他人に依頼し作成されたレポートを自分のものとして提出してはいけません。
4. 他人に依頼されてレポートを作成してはいけません。
5. 転記目的で他人が作成したレポートの提供を受けてはいけません。また、自身が作成した論文・レポートを転記目的で他人に提供してはいけません。
6. その他、論文・レポートの公平性を損なう行為をしてはいけません。

提出時の注意

レポートは、テーマ、枚数、提出期限など異なりますが、以下について特に注意してください。

1. テーマ、科目名、授業担当教員、学部、学科、学年、学籍番号、氏名を記載してください。
2. 一度提出したレポートは締切日前であっても加筆・修正はできません。
3. その他提出方法・期間等、詳細は授業担当教員の指示に従ってください。

①《定期試験期間内にレポートを教室で提出する場合》

定期試験時間割で指定された日時・教室にて提出してください。試験開始後20分までに指定教室に入室しなければ提出できません。

②《教務センターレポート回収ボックスに投函する場合(豊田キャンパス)》

提出場所として回収ボックスが指定された場合のみ投函できます。投函口は科目指定ですので間違いのないよう投函してください。なお、一度投函されたレポートは返却できません。

不正行為・義務違反

■不正行為について

定期試験において不正行為(「中京大学試験規程」参照)をした場合、当該定期試験期間中に受験した全科目(レポート科目を除く)の成績評価は「F」(不受験)となり、さらに有期停学の処分が課されます。また、追試験を受験することもできません。

その他の試験やレポート等において不正行為(「中京大学学生懲戒規程」参照)をした場合、別表に基づき、懲戒処分を受けることになります。

■義務違反について

定期試験において義務違反(「中京大学試験規程」参照)をした場合、当該試験科目の成績評価は「F」となります。また、当該科目の追試験を受験することもできません。

《中京大学試験規程》(一部抜粋)

(定期試験の不正行為)

第9条 定期試験における不正行為とは、その本分に違反して受験した者及びさせた者の行為が次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 受験科目の内容を記入した物品等の所持
- (2) 通信機能又は文字、画像等の記録、閲覧等の機能を有した機器の所持
- (3) 答案用紙等の交換及び貸借
- (4) 机上等に受験科目の内容を記入していた場合
- (5) 本人以外の者が受験した場合
- (6) 他の者の答案を写した場合
- (7) 試験場外から答案用紙を持ち込んだ場合
- (8) 参照を許可されていないノート・教科書等を見た場合
- (9) 口頭等による答案の授受
- (10) 参照を許可されているものを貸借した場合
- (11) 前各号の検証のための指示に従わなかった場合
- (12) 試験監督者の監督業務を著しく妨害した場合
- (13) その他前各号に準ずる行為

(不正行為の懲戒)

第10条 定期試験において不正行為を発見したときは、教務委員会で審議し、不正行為を行った者が所属する学部教授会において懲戒を決定する。この場合の懲戒は、有期停学とし、かつレポート科目及び定期試験期間外に実施される試験を除き、当該学期の定期試験期間中に定期試験が実施された全授業科目の成績評価をFとする。なお、春学期定期試験期間中に定期試験が実施された通年科目の成績評価もFとする。

(定期試験の義務違反)

第11条 定期試験における義務違反とは、次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 試験に使用する用紙が所定の用紙でない場合
- (2) 第9条第11号及び第12号の場合を除き、試験監督者の指示に従わない場合
- (3) 受験時、自己の学生証を机上に提出しない場合
- (4) その他前3号に準ずる場合

(義務違反の懲戒)

第12条 定期試験において義務違反を発見したときは、教務委員会で審議し、義務違反を行った者が所属する学部教授会において懲戒を決定する。この場合の懲戒は、当該試験科目の成績評価をFとする。なお、通年科目については、第10条に準ずる。

《中京大学学生懲戒規程》(一部抜粋)

(懲戒の対象となる行為)

第5条 懲戒の対象となる行為は、次に掲げるものとする。

- (1) 刑事法上、処罰の対象となる行為(犯罪行為)
- (2) 重大な交通法規違反行為
- (3) ハラスメント行為
- (4) 情報倫理に反する行為
- (5) 研究倫理に反する行為
- (6) 他の学生の学修、研究、教職員の教育研究活動等を妨害する行為
- (7) 試験等における不正行為
- (8) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為
- (9) その他学生としての本分に反する行為

2 懲戒の対象となる前項各号に規定する行為の例は別表に定める。

3 第1項各号について、別に規程が定められている場合は、その規程に従う。

別表(第5条関係)

区分	第5条第1各号に規定する行為の例	懲戒の標準例
試験・論文等 不正行為	本学が実施する試験(定期試験を除く)等におけるカンニング等の不正行為	停学又は戒告
	本学が実施する試験(定期試験を除く)等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合	停学又は戒告
	論文・レポートの作成等における剽窃、無断引用等の悪質な行為	停学又は戒告

なお、オンラインでの定期試験における禁止事項等については、定期試験期間前にCHUKYO ALBOにて配信しますので確認してください。

研究倫理

学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとして扱われますので不正行為にならないよう、十分に注意を払う必要があります。例えば、卒業論文のための研究や、論文執筆において下記のような不正があった場合は、意図的でなくても処罰の対象となる場合があります。

■研究における不正行為

ねつ造
存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
改ざん
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を変造又は偽造すること。
盗用
他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

《中京大学研究倫理規程》(一部抜粋)

(対象)

第2条 研究者とは、本学の専任の大学教員のみならず、本学において研究活動に従事する者をいう。なお、学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとする。

(告発等への対応)

第20条 本学は研究倫理に関して、相談、告発等がある場合、適切な措置を講ずる。

(懲戒)

第22条 研究者は、第20条に規定する措置の結果によっては、「学校法人梅村学園懲戒規程」に従い処分されることがある。

2 前項において、研究者が学生である場合には、「中京大学学生懲戒規程」に従い処分されることがある。

成績評価基準

成績評価は、担当教員の評価方法・基準によって、試験(筆記・口頭・実技等)、レポート、授業参加状況等に基づいて行われます。成績評価基準は次のとおりです。

区分	評語	得点	グレード ポイント(GP)	評価内容 (英文内容)
合格	S	100~90点	4.0	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
	A	89~80点	3.0	学習目標を相応に達成している (Very Good)
	B	79~70点	2.0	学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある (Good)
	C	69~60点	1.0	学習目標の最低限は満たしている (Pass)
	N	認定	—	本学以外で修得、又は資格を取得したもので本学が単位認定したものの (Credit given under Credit provision)
不合格	D	60点未満	0.0	学習目標の最低限を満たしていない (Fail)
	F	不受験	0.0	成績評価要件を満たしていない(試験不受験、課題未提出、出席不足等) (Withdrawal)

GPA

GPAとは、Grade Point Averageの略称であり、成績評価を数値化したものです。4.0~0.0という数字で表され、この数値が高いほど優秀な成績を修めているということになります。

《GPA導入の目的》

- ①大学教育における成績評価基準の標準化
- ②厳格な成績評価による教育効果の向上

《GPA算出式》

成績評価をグレードポイントで置き換え、単位数をかけたものの総和を履修登録単位数で割って求めます。

$$4.0 \times \text{Sの修得単位数} + 3.0 \times \text{Aの修得単位数} + 2.0 \times \text{Bの修得単位数} + 1.0 \times \text{Cの修得単位数}$$

$$\text{GPA} = \frac{\text{総履修登録単位数(DやFの単位数も含む)}}{\text{総履修登録単位数(DやFの単位数も含む)}}$$

※全学共通科目・学部固有科目がGPA算出の対象となります。

N(認定された単位)及び自由科目の単位は計算式に含まれません。

※GPAの値は、小数点第4位を切り捨て、小数点第3位までの数値で表示します。

※要卒単位を超えて単位認定された科目は、単位集計表上、自由科目に区分されますが、GPA算出の対象となります。

《GPAの運用》

GPAの値を指標として、教育奨励賞の対象者や卒業式での成績優秀表彰者の選考等を行っています。

学習意欲を高めるために、各学期の成績が確定後、GPAの分布と平均値を公表しています。また、GPAの値に基づき、選抜等を行う科目もあります。

成績開示

《春学期科目》

8月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

《秋学期科目・通年科目》

2月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

《成績問合せ》

成績評価に関する問合せは、各学期の成績開示後に受け付けます。問合せ期間及び方法等の詳細についてはCHUKYO ALBOの「お知らせ」で発表します。

ただし、成績評価が妥当でない理由を具体的に事実に基づいて立証することができないものや、成績の再考や救済を求める内容のものは一切受け付けません。また、個々の判断でMaNaBoメールなどを通じて授業担当教員に直接問い合わせることはできません。成績に関する問合せはすべてこの制度を利用してください。

《その他》

教育後援会より5月と10月に「成績表・履修時間割表」を保証人宛に送付します。

また、成績不振などの場合に教務センターより保証人宛に成績表・履修時間割表等を送付する場合があります。

単位集計表の見方

例)

		⑦	⑧	⑨	⑩
	区分	履修 単位	既修 単位	要卒 単位	卒業 要件
①	卒業要件内	24	96	120	124
②	---- 全学共通科目 ----	2	46	44	44
	教養発展科目	0	2	2	2
	英語基礎A・B	0	4	4	4
	第二外国語基礎A・B	0	4	4	4
	スポーツ・健康(実技)	0	2	2	2
	スポーツ・健康(講義)	0	2	2	2
	自然の探究	0	4	4	4
	人間の探究	0	4	4	4
	社会の探究	2	10	4	4
	複合領域	0	6	4	4
	選択単位	0	8	14	14
③	---- フロート単位 ----	0	0	6	6
④	---- 学部固有科目 ----	22	50	70	74
	必修科目	4	12	16	20
	選択科目	18	38	54	54
⑤	---- 卒業要件外 ----	2	2	4	
	教職課程科目	2	2	4	
	司書課程科目	0	0	0	
	司書教諭課程科目	0	0	0	
	学芸員課程科目	0	0	0	
⑥	自由科目	0	0	0	
	その他	0	0	0	

※集計方法は中京大学ホームページを確認してください。

① 卒業要件内

卒業要件に算入される単位数の集計欄です。

② 全学共通科目

全学共通科目における各科目区分ごとの集計欄です。

③ フロート単位

全学共通科目と学部固有科目の区分で修得した単位のうち、各区分の卒業要件を超過した単位数がフロート単位になります。なおフロートの卒業要件を超過すると自由科目の単位となります。

※フロート単位を設定している学部は、国際学部(18単位)及び心理学部(8単位)のみです。その他の学部には、フロート単位概念はありません。

④ 学部固有科目

学部固有科目における各科目区分ごとの集計欄です。

⑤ 卒業要件外

教職課程科目及び他の資格科目の集計欄です。

⑥ 自由科目

この表における自由科目とは教職・資格科目単位以外で、卒業要件に算入されない単位数です。

⑦ 履修単位

履修登録している単位数(通年科目を含む単位数)

⑧ 既修単位

すでに修得した単位数

⑨ 要卒単位

卒業に必要な単位数をどれだけ満たしているかを示した単位数
※履修中の単位数(⑦ 履修単位)を含みます。要卒単位は、履修単位がすべて合格すると仮定して算出した数字のため、履修科目が不合格となった場合には、要卒単位の数字がその分だけ減ります。

⑩ 卒業要件

卒業に必要な各区分の単位数

Point!

- 「⑨ 要卒単位」の数値は、「⑩ 卒業要件」の数値を超えることはありません。
- 「⑨ 要卒単位」と「⑩ 卒業要件」の数値が等しい場合は、履修登録中の科目の合格を前提として、その区分については卒業のために必要な要件を満たしていることを意味します。

卒業

卒業は、秋学期終了時において、卒業要件を満たした場合に、各学部教授会によりその可否について判定されます。その結果は3月上旬にCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内は3月中旬に保証人宛に送付します。

春学期卒業

春学期終了時において、以下の卒業要件を満たした場合は、各学部教授会による卒業判定後、春学期卒業(9月卒業)となります。その結果は9月中旬までにCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内を9月中旬に保証人宛に送付します。

《卒業要件》

- 通算4年(8セメスター)以上の在学(在学期間に休学は含みません)
- 4年次に2セメスター以上の在学
- 各学部・学科で定められている卒業要件(卒業所要単位、その他要件等)の充足

■卒業延期

春学期卒業(9月卒業)の延期(翌年3月卒業)を希望する場合は、期限までに教務センター窓口で「卒業延期願」に必要事項を記入の上提出し、秋学期分学費を納入してください。

卒業延期願の提出期限	8月末日頃 (詳細はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内します)
卒業延期願の提出先	教務センター

《注意事項》

秋学期の履修登録が必要です。ただし、必ずしも単位を修得する必要はありません。

《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

留年

進級や卒業に必要な要件を満たさなかった場合は、その学年に留年となります。卒業せずに留年となった場合は、文書をもって、その旨を保証人宛に通知します。

※秋学期に進級することはありません。

※各学部の要件については学生便覧(履修ガイド)【教育課程と資格課程】の「進級要件と卒業要件」を参照してください。

《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

工学部

教育課程と資格課程

工学部 機械システム工学科【教育研究上の目的】

機械と情報を要素技術として、人間生活の利便性と生活の質を向上させるために、先進的な機械システムを築くことのできる基礎的な知識と技術を有した実践力のある人材の育成を目的とする。学生が、機械や機械システムの設計の基本原則と各種機械要素の機能や原理、材料選択や製造加工など設計や製作、人工知能などの情報技術によるシステム制御のための基本的な知識と技術の修得と、機械の性能や安全性について判断や評価ができる基礎的な知識を身につけることを、教育研究上の目的とする。

工学部 機械システム工学科【学位授与の方針】

工学部機械システム工学科は、教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成・提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士(工学)を授与します。

■学修成果(教育目標)

1. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる、統合された知の基盤としての十分な教養を身につけている。
2. 工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、機械・ロボット工学と情報工学の基本技術を活用できる。
3. メカトロニクス分野、ロボティクス分野、知能システム分野のいずれかの一つ以上について、自律的に応用展開を図る能力を身につけている。
4. 工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけている。
5. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。

工学部 機械システム工学科【教育課程編成・実施の方針】

工学部機械システム工学科では、教育研究上の目的及び学位授与の方針に基づき、以下に示す教育課程を編成し、実施します。

■専門教育課程の構成

基礎学力を基盤として、専門知識を基礎学力の上に体系的に構築できるようにし、さらに、履修モデルを提示することにより、専門領域の位置づけとその領域に関連する職業選択を明確にするカリキュラム編成とします。機械システム工学科における教育課程の履修・単位取得により、メカトロニクス、ロボティクス、知能システムに必要なとなる知識と技術の修得を可能とします。

1. 授業は、一般教養として、「全学共通科目」、工学専門として、「学部固有科目」を設定する。
2. 履修モデルは、機械工学と制御技術を学ぶメカトロニクスモデル、ロボット開発に必要な工学理論を学ぶロボティクスモデル、人間情報や人工知能などの情報処理技術及び機械システムの設計・制御理論を学ぶ知能システムモデルとする。
3. 学部固有科目は、学部内の工学の基礎としての「工学基礎科目」と、専門性を重視した「学科基幹科目」と「学科展開科目」を配置する。
4. 工学基礎科目として、数学系、リテラシ系、キャリア支援系の科目を配置する。
5. 学科基盤科目と学科展開科目は、3つの履修モデルを想定した構成とする他に、体験型学修により工学基礎力を養う実験・演習系及び総合系を配置する。これら専門科目により機械システム工学の基本技術を修得する。
6. 卒業要件となる研究は、プロジェクト系において、1年次からの継続的科目により研究能力を培い、4年次における論文作成と研究発表に至るまでを指導する。卒業研究を実施することにより、学部固有科目で学んだ課程を総合的に学修する。
7. 1年次で22単位、2年次で38単位の必修科目の学部固有科目修得を次年次への進級要件とする。3年次で44単位の必修科目の学部固有科目修得とプロジェクト研究基礎演習・プロジェクト研究応用演習の単位修得を4年次への進級要件とする。
8. 「学部固有科目」は90単位、「全学共通科目」は34単位、合計124単位の修得を卒業要件とする。

工学部 電気電子工学科【教育研究上の目的】

電気、電子、情報通信技術の基礎を確実に修得し、急速に進歩する電気電子工学分野の産業の発展を担う信頼感のある技術者の養成を目的とする。学生が、電気回路及び電磁気学に関する基礎的な知識を修得した上で、電気系科目では電気機器及び電力ネットワークの基礎知識を、電子系科目では電子デバイス、集積回路など半導体の基礎知識を、情報系科目ではデータサイエンスを意識した組み込みシステムや画像信号処理の基礎知識を、通信系科目では通信システム、無線通信の基礎知識を身に付けることを、教育研究上の目的とする。

工学部 電気電子工学科【学位授与の方針】

工学部電気電子工学科は、教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成・提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士(工学)の学位を授与します。

■学修成果(教育目標)

1. 工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、電気電子工学の基本技術を活用できる。
2. 制御・メカトロニクス分野、エレクトロニクス分野、通信分野のいずれか1つの分野の応用について理解する能力と関連専門分野の基礎力を有し、自立的に応用展開を図る能力を身につけている。
3. 工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけている。
4. 修得した知識や技能に基づき、自らが発見した新たな課題を解決できる。また、持続可能な社会構築について創造的な考え方を発信することができる。
5. グローバル化が進展する社会で活躍するために不可欠な言語力、モラルに則って情報を収集・活用する能力、他者と協調して目標実現するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ精神を身につけている。
6. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。
7. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる、統合された知の基盤としての十分な教養を身につけている。

工学部 電気電子工学科【教育課程編成・実施の方針】

工学部電気電子工学科では、教育研究上の目的及び学位授与の方針に基づき、以下に示す教育課程を編成し、実施します。

■専門教育課程の構成

基礎学力を基盤として、専門知識を基礎学力の上に体系的に構築できるようにし、さらに、履修モデルを提示することにより、専門領域の位置づけとその領域に関連する職業選択を明確にするカリキュラム編成とします。電気電子工学科における教育課程の履修・単位取得により、制御・メカトロニクス、エレクトロニクス、通信に必要な知識と技術の修得を可能とします。

1. 授業は、一般教養として、「全学共通科目」、工学専門として、「学部固有科目」を設定する。
2. 学部固有科目は、学部内の工学の基礎としての「工学基礎科目」と、専門性を重視した「学科基幹科目」と「学科展開科目」を配置する。
3. 学部共通科目として、数学系、リテラシ系、キャリア支援系、コンピュータ系、プロジェクト系の科目を配置する。
4. 専門科目群は、電気・システム制御技術を学ぶ制御・メカトロニクス系、半導体・電子工学技術を学ぶエレクトロニクス系、通信・電波技術を学ぶ通信系、データサイエンス・情報処理技術を学ぶ情報系、体験型学修により工学基礎力を養う実験・演習系及び、総合系を配置する。これら専門科目により電気電子工学の基本技術を修得する。
5. 1年次で12単位、2年次で32単位の必修科目の学部固有科目修得を次年次への進級要件とする。3年次で36単位の必修科目の学部固有科目修得と電気電子工学実験2の単位修得を4年次への進級要件とする。
6. 「学部固有科目」は90単位、「全学共通科目」は34単位、合計124単位の修得を卒業要件とする。
7. 卒業要件となる研究は、プロジェクト系において、1年次からの継続的科目により研究能力を培い、4年次における論文作成と研究発表に至るまでを指導する。卒業研究を実施することにより、学部固有科目で学んだ課程を総合的に学修する。
8. 教職資格については、高等学校教諭一種・工業の教員資格取得を可能とする。
9. 工業高校からの入学者、高等学校段階で理数科目を十分に履修していない学生のために、物理及び数学の基礎を固める科目を配置し、春学期、秋学期の両方に開講する等、高等学校の学習から大学教育への円滑な移行を助ける。
10. プロジェクト系科目と合わせて技術者倫理科目を配置し、技術者としての倫理観を深め、社会へ貢献するための基本的考え方を身につける。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

工学部 情報工学科【教育研究上の目的】

情報工学科は、高度に並列分散化しネットワークで結ばれた時代に即応できる情報システムの設計、実装、運用に携わる人材の養成を目的とする。学生が、情報システムの基本構成と基本要素について理解し、プログラミングとソフトウェア開発、情報処理環境の機能と運用、情報処理技法の設計と評価、情報と計算に関する形式的記述と論理的思考、人工知能とデータサイエンスに関する素養、ハードウェアやソフトウェアの設計と製作、分散システムの設計や開発に関する基礎知識を身に付けることを、教育研究上の目的とする。

工学部情報工学科【学位授与の方針】

工学部情報工学科は、教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成・提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士(工学)の学位を授与します。

■学修成果(教育目標)

1. 工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、情報工学の基本技術を活用できる。
2. 数理的な基礎思考力とコンピュータで利用するためのハードウェア、ソフトウェアの基礎知識を身につけている。
3. コンピュータエンジニアリング分野、人工知能・データサイエンス分野、ウェブ・ネットワーク分野、のいずれか1つの分野の応用について理解する能力と関連専門分野の基礎力を有し、自律的に応用展開を図る能力を身につけている。
4. 工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけている。
5. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。
6. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる、統合された知の基盤としての十分な教養を身につけている。

工学部情報工学科【教育課程編成・実施の方針】

工学部情報工学科では、教育研究上の目的及び学位授与の方針に基づき、以下に示す教育課程を編成し、実施します。

■専門教育課程の構成

基礎学力を基盤として、専門知識を基礎学力の上に体系的に構築できるようにし、さらに、履修モデルを提示することにより、専門領域の位置づけとその領域に関連する職業選択を明確にするカリキュラム編成とします。情報工学科における教育課程の履修・単位取得により、コンピュータエンジニア、システム・ソフトウェアエンジニア、ウェブ・ネットエンジニア、人工知能人材・データサイエンティストに必要な知識と技術の修得を可能とします。

1. 授業は、一般教養として、「全学共通科目」、工学専門として、「学部固有科目」を設定する。
2. 学部固有科目は、学部内の工学の基礎としての「工学基礎科目」と、専門性を重視した「学科基幹科目」と「学科展開科目」を配置する。
3. 学部共通科目として、数学系、リテラシ系、キャリア支援系、コンピュータ系、プロジェクト系の科目を配置する。
4. 専門科目群は、情報システムやソフトウェア技術を学ぶシステム・ソフトウェア系、人工知能やデータサイエンスを学ぶ人工知能・データサイエンス系、ウェブ工学や通信技術を学ぶウェブ・ネットワーク系、体験型学修により工学基礎力を養う実験・演習系及び情報工学の総合系を配置する。これら専門科目により情報工学の基本技術を修得する。
5. 1年次で12単位、2年次で16単位の必修科目の学部固有科目修得を次年次への進級要件とする。3年次で54単位の学部固有科目修得を4年次への進級要件とする。
6. 「学部固有科目」は90単位、「全学共通科目」は34単位、合計124単位の修得を卒業要件とする。
7. 卒業要件となる研究は、プロジェクト系において、1年次からの継続的科目により研究能力を培い、4年次における論文作成と研究発表に至るまでを指導する。卒業研究を実施することにより、学部固有科目で学んだ課程を総合的に学修する。

工学部 メディア工学科【教育研究上の目的】

メディア工学科は、情報通信技術を情報の媒体と捉えた応用システムの考案、開発を担うメディア技術者の養成を目的とする。学生が、人工知能などの情報技術の基礎的な理論と技能を修得し、アプリケーションソフトの開発、情報デザインのための処理技術と表現技術、メディア情報処理システムの設計や開発などのメディア技術とメディアデザインに関する基礎知識を身に付けることを、教育研究上の目的とする。

工学部メディア工学科【学位授与の方針】

工学部メディア工学科は、教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成・提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士(工学)の学位を授与します。

■学修成果(教育目標)

1. 工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、メディア工学の基本技術を活用できる。
2. メディア技術分野、メディアデザイン分野の応用について理解する能力と関連専門分野の基礎力を有し、自立的に応用展開を図る能力を身につけている。
3. 人工知能やデータサイエンスを含む工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけている。
4. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけている。
5. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる統合された知の基盤としての十分な教養を身につけている。

工学部メディア工学科【教育課程編成・実施の方針】

工学部メディア工学科では、教育研究上の目的及び学位授与の方針に基づき、以下に示す教育課程を編成し、実施します。

■専門教育課程の構成

基礎学力を基盤として、専門知識を基礎学力の上に体系的に構築できるようにし、さらに、履修モデルを提示することにより、専門領域の位置づけとその領域に関連する職業選択を明確にするカリキュラム編成とします。メディア工学科における教育課程の履修・単位取得により、メディア技術の修得及びその応用を実践するためのメディアデザイン能力の養成を可能とします。

1. 授業は、一般教養として、「全学共通科目」、工学専門として、「学部固有科目」を設定する。
2. 学部固有科目は、学部内の工学の基礎としての「工学基礎科目」と、専門性を重視した「学科基幹科目」と「学科展開科目」を配置する。
3. 工学基礎科目として、基礎理論系、リテラシ系、キャリア支援系の科目を配置する。
4. 学科基幹科目として、体験型学習によりメディア応用を実践する実習・プロジェクト系、情報技術の基礎を学ぶ情報技術系、プログラミングの基礎を学ぶプログラミング系の科目を配置し、これら専門科目によりメディア工学の基礎技術及び実践力を修得する。
5. 学科展開科目として、映像・音響メディアの処理技術を学ぶメディア処理系、メディア応用のためのデザインを学ぶメディア応用系、メディアと社会との関りを学ぶメディア社会系を配置し、これら専門科目によりメディア工学の専門技能を修得する。
6. 1年次で16単位、2年次で40単位、3年次で54単位の学部固有科目修得を次年次への進級要件とする。
7. 「学部固有科目」は90単位、「全学共通科目」は34単位、合計124単位の修得を卒業要件とする。
8. 卒業要件となる研究は、1年次からのプロジェクト系の継続的科目により研究能力を培い、4年次における論文作成と研究発表に至るまでを指導する。卒業研究を実施することにより、学部固有科目で学んだ課程を総合的に学修する。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

カリキュラム(教育課程)

カリキュラム(教育課程)とは、教育目標を達成するために、学生の学習段階や能力に応じて編成した教育内容の計画のことです。本学のカリキュラム(教育課程)は、全学共通科目と学部固有科目からなります。卒業にはそれぞれの科目群から学科ごとに必要とされる単位を修得する必要があります。

また、学際的な知識を身につけるための全学開放科目(他学部履修制度)などがあります。

■全学共通科目▶▶▶P25参照

教養教育科目ともいいます。所属学部や研究領域を問わず全学生が履修する科目です。

4年間にわたって各学部・学科ごとの学部固有科目と並行して学び、幅広い知識と教養を身につけます。

■学部固有科目▶▶▶P30参照

各学部・学科ごとに開講されている専門教育科目です。

学部・学科によって履修の仕組みは異なりますが、一般的には1、2年生で基礎的な科目を学び、3、4年生ではより専門性の高い科目を学びます。大学ならではの授業スタイルである「演習(ゼミナール)」も開講されています。

■資格課程【教職・司書課程等】▶▶▶P49参照

専門教育を通じて資格取得を希望する学生のための課程です。

学部・学科ごとにもうけられているもので、「教職課程」をはじめ「司書課程」など多彩な資格課程があります。

※学部・学科によって取得できる資格の種類は異なります。

※資格課程で得られる単位は卒業所要単位には含まれないものもあります。

■全学開放科目【他学部履修制度】▶▶▶P47参照

10学部を擁する本学では、学部横断的に学部固有科目を学べる独自の教育システムを設定しています。

他学部の学部固有科目を学ぶことで幅広く深い知識を得られるうえ、自身の専門分野からのアプローチ以外の学際的な視点・考え方を身につけることができます。

セメスター制と通年制

セメスター制とは、1年を春学期と秋学期に分け、各学期毎に単位認定を行う制度です。通年制とは、1年間(春・秋の2学期間)で単位認定を行う制度です。本学では基本的にセメスター制としていますが、通年制の科目もあります。

学 年	1		2		3		4	
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8

各種サポートプログラム

本学では「学部の学び」に加えて、資格取得サポートや留学サポートプログラム、さらに就職に向けたキャリアサポートプログラムを用意し、入学から卒業まで幅広い支援体制を整えています。

■資格取得サポートプログラム(資格センター)

資格センター主催の資格取得プログラムでは、外部専門講師による実践的な試験対策講座を開講し、高い合格率を誇っています。

資格試験対策だけでなく、就職に直結する公務員試験対策など、将来の目的に合わせた資格講座を開講しています。

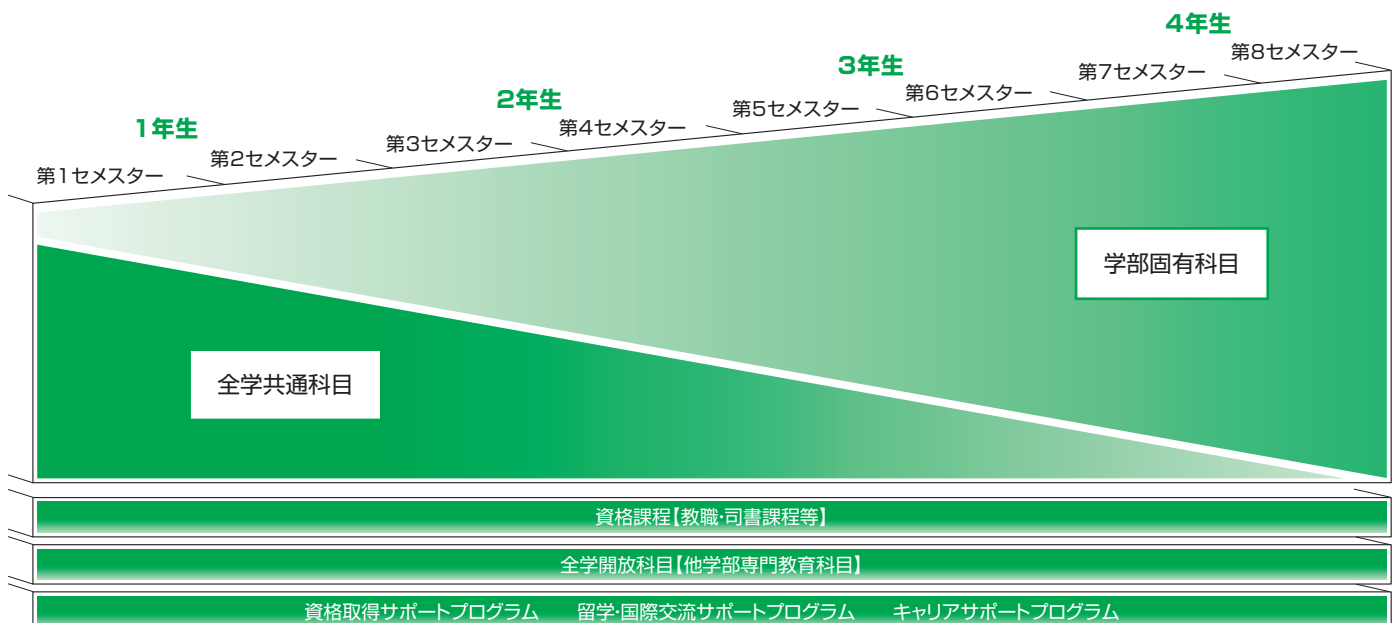
■留学・国際交流サポートプログラム(グローバル教育センター)

グローバル教育センターでは、交換・認定留学をはじめ、セメスター留学や海外短期研修など、様々な留学制度を取り揃えています。国際交流全般に関わる窓口として、留学希望者へのサポートのほか、英語対策講座の提供、学内国際交流イベントを実施しています。

■キャリアサポートプログラム(キャリア支援課)

就職への意識を高めると同時に自己発見と将来の進路選択のため、1年生から4年生まで、それぞれの学年ごとに「キャリアサポートプログラム」を実施し、早くから就職を意識することで高い成果を上げています。

また、職場体験を通じて職業意識を高める「インターンシッププログラム」も実施しています。



3 授業科目区分と単位制度

問合せ先 教務センター

授業科目区分

全学共通科目と学部固有科目は次のように区分されます。

1. 必修科目 …… 卒業するために必ず修得しなければならない科目
2. 選択必修科目 …… 選択科目のうち指定された複数の科目から選択して必ず修得しなければならない科目
3. 選択科目 …… 卒業するために各学部の定める科目のうちから適宜選択して修得しなければならない科目
4. 自由科目 …… 単位の認定はされるが、卒業所要単位には算入されない科目

単位制

本学では「大学設置基準」にもとづいた単位制を採用しています。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することによって、授業科目ごとに定められている単位を修得する制度のことです。大学設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する旨の内容が記載されています。したがって、単位を修得するには、大学での授業に加え、予習・復習等の自主学習が必要となります。

単位数

中京大学学則では、以下のように定められています。

科目区分	授業時間数	単位数
講義科目、演習科目	15～30時間	1単位
外国語基礎科目、実験・実習・実技科目	30～45時間	1単位

授業の方法

授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとします。

《講義》

学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性質などを説き聞かせる授業形態。

《演習》

教員の講義と共に、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態。

《実験》

事柄の当否などを確かめるために、また、ある理論や仮説で考えられていることが、正しいかどうかなどを実際に試してみる授業方法。

《実習》

講義などで学んだ知識を基に、実地(実物)について学習する授業方法。

《実技》

講義などで学んだ知識を基に、実際に演技を行う授業方法。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30

進級要件及び卒業要件は、それぞれに示す条件を満たす必要があります。

進級要件

工学部では、各学年において進級判定を行います。進級要件を満たさなかった場合は、その学年において留年となります。要件の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

進級判定は、各学年の秋学期終了時に行います。留年後、次年度春学期で進級要件を充足しても進級判定は上記時期にて行います。

- ① 進級判定結果は、3月上旬にCHUKYO ALBOで発表します。
- ② 留年になった学生については、3月中に文書を以って、その旨を保証人宛に通知します。
- ③ 本学に仮進級という制度はありません。

次の条件をどちらも満たしている場合、次年度春学期に進級します。秋学期に進級することはありません。

- 在学期間に関する条件
各年次2セメスター以上の在学が必要です。
- 学業に関する条件
進級に必要な単位は、下表の通りです。

1. 機械システム工学科

学年	進級要件
2年	1年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を22単位以上修得していること
3年	2年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を38単位以上修得していること
4年	3年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を44単位以上修得しており、かつ「プロジェクト研究基礎演習」と「プロジェクト研究応用演習」の単位を修得していること

2. 電気電子工学科

学年	進級要件
2年	1年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を12単位以上修得していること
3年	2年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を32単位以上修得していること
4年	3年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を36単位以上修得しており、かつ「電気電子工学実験2」の単位を修得していること

3. 情報工学科

学年	進級要件
2年	1年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を12単位以上修得していること
3年	2年次終了時に、学部固有科目のうち必修科目を16単位以上修得していること
4年	3年次終了時に、学部固有科目を54単位以上修得していること

4. メディア工学科

学年	進級要件
2年	1年次終了時に、学部固有科目を16単位以上修得していること
3年	2年次終了時に、学部固有科目を40単位以上修得していること
4年	3年次終了時に、学部固有科目を54単位以上修得していること

卒業要件

次の条件をどちらも満たしている場合、卒業します。

- 在学期間に関する条件
通算4年間(8セメスター)以上在学し、かつ4年次に2セメスター以上の在学が必要です。なお、在学期間に休学は含みません。
- 学業に関する条件
卒業に必要な単位は、下表の通りです。履修登録や修得単位の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

1. 機械システム工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	56単位
	選択必修	8単位
	選 択	26単位
	小 計	90単位
総 計	124単位	

2. 電気電子工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	54単位
	選択必修	14単位
	選 択	22単位
	小 計	90単位
総 計	124単位	

3. 情報工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	42単位
	選 択	48単位
	小 計	90単位
	総 計	124単位

4. メディア工学科

科目区分	卒業所要単位	
全学共通科目	選択必修	30単位
	選 択	4単位
	小 計	34単位
学部固有科目	必 修	46単位
	選 択	44単位
	小 計	90単位
	総 計	124単位

履修登録制限単位

下表の通り学期毎に定められた履修登録制限単位(1学期に履修できる単位数の限度)を超えて科目を履修登録することはできません。

学 年	1		2		3		4	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
制限単位数 (4学科共通)	26	26	26	26	24	24	24	24

※自由科目は履修登録制限単位に含まれません。また、卒業所要単位にも含まれません。

学年		1年	2年	3年	4年	卒業要件 (34単位)	
系	科目群	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)		
教養発展科目	学びの実践	発展ゼミ		発展ゼミ(言語文化)I(2) 発展ゼミ(健康科学)I(2) 発展ゼミ(自然科学)I(2) 発展ゼミ(人文科学)I(2) 発展ゼミ(社会科学)I(2) 発展ゼミ(複合領域)I(2)	発展ゼミ(言語文化)II(2) 発展ゼミ(健康科学)II(2) 発展ゼミ(自然科学)II(2) 発展ゼミ(人文科学)II(2) 発展ゼミ(社会科学)II(2) 発展ゼミ(複合領域)II(2)	2単位	
		テーマ指向型科目	外国語：各国映画への招待(2) 英語の諸相(2) 日本語を学ぶ(2) 多文化リテラシー(2) 自然：データサイエンス実践(2) 人間：インターネットを思索する(2) 哲学カフェ(2) 考える歴史学(2) 社会：現代社会と人権(2) 社会と安全(2) ボランティアの実践(2) 多様性から考える(2) グローバル化と日本(2) 複合領域：性の諸相(2) 平和の実践(2) 情報と社会(2) 環境をめぐる議論(2)				
	外国語演習	英語	English for Travel(2) English for Entertainment(2) 時事英語(2) 日本を伝える英語(2) 英語の語彙と発音(2) アカデミック・イングリッシュ・スキルズ(2) English Presentation(2) Discussion and Debate(2) 英語資格対策基礎(2) 英語資格対策上級(2) 英語セミナーI(2) 英語セミナーII(2)				
		第一外国語	ドイツ語演習I(2) ロシア語演習I(2) フランス語演習I(2) 中国語演習I(2) スペイン語演習I(2) 韓国朝鮮語演習I(2)	ドイツ語演習II(2) ロシア語演習II(2) フランス語演習II(2) 中国語演習II(2) スペイン語演習II(2) 韓国朝鮮語演習II(2)	ドイツ語応用I(2) ロシア語応用I(2) フランス語応用I(2) 中国語応用I(2) スペイン語応用I(2) 韓国朝鮮語応用I(2)	ドイツ語応用II(2) ロシア語応用II(2) フランス語応用II(2) 中国語応用II(2) スペイン語応用II(2) 韓国朝鮮語応用II(2)	
教養基礎科目	グローバルコミュニケーション	外国語基礎	英語	ベーシック英語リーディングA(1) エレメンタリー英語リーディングA(1) インターメディアイト英語リーディングA(1) アドバンスト英語リーディングA(1)			1単位
			英語	ベーシック英語リーディングB(1) エレメンタリー英語リーディングB(1) インターメディアイト英語リーディングB(1) アドバンスト英語リーディングB(1)			1単位
			英語	ベーシック英語コミュニケーションA(1) エレメンタリー英語コミュニケーションA(1) インターメディアイト英語コミュニケーションA(1) アドバンスト英語コミュニケーションA(1)			1単位
			英語	ベーシック英語コミュニケーションB(1) エレメンタリー英語コミュニケーションB(1) インターメディアイト英語コミュニケーションB(1) アドバンスト英語コミュニケーションB(1)			1単位
		第一外国語	ドイツ語基礎A(通年2) ドイツ語基礎B(通年2) ロシア語基礎A(通年2) ロシア語基礎B(通年2) フランス語基礎A(通年2) フランス語基礎B(通年2) 中国語基礎A(通年2) 中国語基礎B(通年2) スペイン語基礎A(通年2) スペイン語基礎B(通年2) 韓国朝鮮語基礎A(通年2) 韓国朝鮮語基礎B(通年2)			4単位	左の単位 以外で全 学共通科 目のいず れかから 4単位
		学びのエッセンス	ことばの科学(2) ことばと文化(2)				
		テーマからの学び	異文化研究(2)				
		スポーツ実技	卓球(1) ソフトボール(1) シーズンスポーツ・ゴルフ(1) 硬式テニス(1) ゴルフ(1) シーズンスポーツ・スケート(1) バドミントン(1) ニュースポーツ(1) アダプテッドスポーツA(1) バレーボール(1) フィットネス(1) アダプテッドスポーツB(1) バスケットボール(1) トレーニング(1) サッカー(1) エアロビクス(1)			2単位	
	学びのエッセンス	健康科学(2) スポーツ科学(2)					
	テーマからの学び	現代社会とスポーツ(2)			2単位		
	自然の探究	宇宙地球科学(2) 化学(2) 教養統計学(2) 数学(2) 生物学(2) 物理学概論(2)					
	テーマからの学び	人間生活の中の宇宙地球科学(2) 身近な物質の化学(2) 社会における統計学(2) 数理と社会(2) 生物と環境(2) 日常の中の物理学(2)			4単位		
	人間の探究	文学(2) 日本史(2) 西洋史(2) 東洋史(2) 哲学(2) 倫理学(2) 論理学(2) 心理学(2)					
テーマからの学び	人間の心と言葉(2) 日本史と現代世界(2) ヨーロッパ史と現代世界(2) アジア史と現代世界(2) 科学と技術の哲学(2) 自由と正義の倫理学(2) レトリックの論理学(2)			4単位			
社会の探究	人文地理学(2) 社会学(2) 教育学(2) 経済学(2) 政治学(2) 法学(2) 日本国憲法(2) 文化人類学概論(2)						
テーマからの学び	地域らしさの探求(2) 障害と社会(2) 教育と社会(2) 暮らしと経済(2) 国際関係と日本(2)			4単位			
複合領域	ジェンダー論(2) 平和学(2) 情報科学(2) 環境科学(2) 国際協力学(2) キャリアデザイン論(2)						
テーマからの学び	現代社会とジェンダー(2) 国際平和論(2) 情報と技術(2) 環境テーマ論(2)			4単位			
		中京大学を知る(2) 海外教養科目(4)					
		教養トピック講義(2) 全学開放科目(8)					

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

全学共通科目について

全学共通科目のカリキュラムは、基礎から発展へと学びを積み重ねることができるように「教養基礎科目」と「教養発展科目」に分かれています。多様な科目が置かれていますので、Webシラバスで各科目の内容を確認して科目を選択し、総合的な知識を身につけるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いてください。

※履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。

※復学者・編転入学者の履修については、教務センター窓口まで申し出てください。

不開講科目／履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに授業担当教員と履修者との合意の上で、その学期の授業を不開講とすることがあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員の説明をよく聞いてください。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合は、履修者数の制限を行うことがあります。

教養基礎科目

コミュニケーション能力の基礎、諸分野の基礎的知識を幅広くかつ体系的に修得し、また健康と体力の維持・増進をはかります。

学びのエッセンス／テーマからの学び

各科目群の講義科目は、諸学をカバーする基幹的な科目である「学びのエッセンス」と、分野ごとに設定されたテーマについて知識と理解を深める「テーマからの学び」に分かれています。

「学びのエッセンス」の科目から履修することも、「テーマからの学び」から履修することもできます。

スポーツ・健康

学びのエッセンスに配当されている「健康科学」「スポーツ科学」は1つの学期に、いずれか1科目(2単位)しか履修登録できません。

スポーツ実技

スポーツ実技科目(各1単位)から卒業所要単位として2単位を修得しなければなりません。

《履修上の注意》

- ①スポーツ実技科目は1つの学期に1科目(1単位)しか履修登録できません。ただし、シーズンスポーツは他のスポーツ実技科目との同時履修登録が可能です。シーズンスポーツのみの履修登録も可能です。
- ②各スポーツ実技科目では履修者数制限を行います。
- ③「シーズンスポーツ・ゴルフ」は春学期の集中講義期間に行います。履修を希望する場合は、CHUKYO ALBOで履修登録を行った上で、4月上旬の「シーズンスポーツ・ゴルフ」ガイダンスに必ず出席してください。詳細は、3月下旬～4月上旬にCHUKYO ALBOにてお知らせします。
- ④「シーズンスポーツ・スケート」は豊田キャンパスにて、その他のスポーツ実技科目と同様に毎週1回開講します。詳細は、3月下旬～4月上旬にCHUKYO ALBOにてお知らせします。
- ⑤「アダプテッドスポーツA・B」は、長期にわたり他のスポーツ実技科目の履修が困難と考えられる学生を対象とします。履修には医療機関が発行する診断書が必要です。履修希望者は履修登録前までに学生サポートセンターに申し出てください。その後、学生サポートセンターと授業担当教員との間で協議した上で、履修の可否を決定します。

グローバルコミュニケーション(外国語基礎)

英語

下表の4区分(英語選必(1)～(4))の中から卒業所要単位として各区分1科目(1単位)を修得してください。

区分	科目名	開講セメスター ／単位数	卒業要件
英語選必(1)	アドバンスト英語リーディングA インターミディエイト英語リーディングA エレメンタリー英語リーディングA ベーシック英語リーディングA	春学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必(2)	アドバンスト英語リーディングB インターミディエイト英語リーディングB エレメンタリー英語リーディングB ベーシック英語リーディングB	秋学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必(3)	アドバンスト英語コミュニケーションA インターミディエイト英語コミュニケーションA エレメンタリー英語コミュニケーションA ベーシック英語コミュニケーションA	春学期 ／各1単位	1単位 選択 必修
英語選必(4)	アドバンスト英語コミュニケーションB インターミディエイト英語コミュニケーションB エレメンタリー英語コミュニケーションB ベーシック英語コミュニケーションB	秋学期 ／各1単位	1単位 選択 必修

※場合によっては不開講となる科目もあります。

《履修上の注意》

- ①1年生配当科目のため、1年生で履修することが望めます。
- ②シラバスを参照し、各区分(英語選必(1)～(4))から、それぞれ1科目を履修しなければなりません(各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください)。
- ③各区分において履修登録できる科目数は、各学期1科目となります。
- ④各区分において1科目修得した場合は、同一区分の他の科目は履修できません。

※履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。なお、各科目には定員があり、履修者数制限を行います。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
アドバンスト	これまで英語学習に十分力を注いできて高い英語力を持ち、さらに力を伸ばしたいと考えている学生や、英検2級程度の英語力を持つ学生を対象とする。英検準1級以上の学力をつけることを目標とする。
インターミディエイト	英検準2級程度の英語力を持ち、大学レベルの英語を身につけたいと考えている学生を対象とする。英検2級以上の学力をつけることを目標とする。
エレメンタリー	英検3級程度の英語力を持つ学生を対象とする。英検準2級程度の学力をつけることを目標とする。
ベーシック	これまで英語学習にあまり力を注いでこなかったために英語の初歩に立ち戻って学習しようと考えている学生や、英検4級程度の英語力を持つ学生を対象とする。英検3級程度の基礎的な学力をつけることを目標とする。

第二外国語

《外国語基礎A・B》

1年生は全員、ドイツ語、ロシア語、フランス語、中国語、スペイン語、韓国朝鮮語のいずれかの外国語基礎A・Bを履修しなければなりません。各言語及びクラスには定員があり、自動抽選で決定します。言語及びクラスは新1年生ガイダンス内で発表します。

再履修について

詳細はCHUKYO ALBOで案内しますので確認してください。

英語

事前申請が必要です。

原則として、開講されている4区分の中の「ベーシック」又は「エレメンタリー」で再履修してください。

第二外国語

履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。このとき、1年次で履修したものと同一外国語の外国語基礎でなければなりません。やむを得ない理由で1年次とは異なる外国語の履修を希望する場合には、**1年生の秋学期の成績が開示されてから、2年生春学期の履修登録開始日前日までの間に教務センター窓口**に申し出てください。**期間外の申請は認められません**。変更理由やクラス定員の問題により変更が認められない場合もあります。なお、履修登録にあたっては、外国語基礎A・Bをセットで登録するようにしてください。

教養発展科目

教養基礎科目で培った基礎的な知識やコミュニケーション能力の基礎をさらに深め、実践的な学修を通じて多面的・論理的思考力を養います。

「学びの実践」科目群又は「グローバルコミュニケーション(外国語演習)」科目群から卒業所要単位として2単位を修得しなければなりません。

学びの実践

アクティブラーニングの比率を高めたテーマ指向型科目と、教養教育で培われた知識と能力を総合的に活用する発展ゼミがあります。

発展ゼミ

言語文化・健康科学・自然科学・人文科学・社会科学・複合領域の6分野で編成されています。

《履修上の注意》

履修希望者は、初回の授業に必ず出席してください。

発展ゼミⅡを履修する場合は、同じ分野の発展ゼミⅠを修得済みでなければなりません。

グローバルコミュニケーション(外国語演習)

英語

レベルと到達目標、その他についてはシラバスで確認してください。

第二外国語

《外国語演習Ⅰ・Ⅱ及び外国語応用Ⅰ・Ⅱ》

外国語演習Ⅰ・Ⅱ及び外国語応用Ⅰ・Ⅱを履修する場合は、それに対応した外国語基礎A・Bを両方修得済みでなければなりません。履修希望者は必ず初回の授業に出席してください。

その他

第三外国語

第二外国語として提供されている6言語のうち、すでに修得した第二外国語以外の中から3つ目の外国語を修得し、全学共通科目の選択単位として卒業所要単位に算入することができます。

《第三外国語としての外国語基礎A・B》

第三外国語を履修する場合は、第二外国語で履修した外国語基礎A・Bの両方を修得済みでなければなりません。

第三外国語は、外国語基礎A・Bいずれか一方でも履修できます。

《第三外国語としての外国語演習Ⅰ・Ⅱ及び外国語応用Ⅰ・Ⅱ》

第三外国語として希望する外国語演習Ⅰ・Ⅱ及び外国語応用Ⅰ・Ⅱを履修する場合は、それに対応した第三外国語の外国語基礎A又は外国語基礎Bを修得済みか同時に履修登録しなければなりません。

《履修方法》

第三外国語の履修希望者は、**春学期履修登録期間中及び修正期間中に教務センター窓口へ申し出てください。**

※希望するクラスの履修者数が多い場合は、履修できないことがあります。

海外教養科目

- ①グローバル教育センターの交換留学及び認定留学に参加した学生が留学先大学で修得した科目については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、教養教育研究院が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1又は3単位などの分割認定も認めます。

	1年			2年			3年			4年			卒業要件 (90単位)											
	春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期													
	1セメスター	2セメスター		3セメスター	4セメスター		5セメスター	6セメスター		7セメスター	8セメスター													
	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部									
1 2 3 4 5 6 7	数学系	◎解析学1	(2)		◎解析学2	(2)																		
		◎線形代数学	(2)		◎幾何学	(2)																		
		◎線形代数学演習	(2)																					
		基礎数学	(2)																					
	工学基礎科目	◎キャリアデザイン	(2)			●機械加工実験	(2)		●機械加工実験	(2)		◎キャリアマネジメント	(2)		◎キャリアマネジメント2	(2)								
		キャリア系	インターンシップ(2)																					
	8		海外セミナー1(2)																					
9		海外セミナー2(2)																						
10																								
11	リテラシ系	◎コンピュータリテラシ	(2)				◎技術英語1	(2)		技術英語2	(2)		◎技術者倫理	(2)										
12	実験実習系	◎工学基礎実験A(仮想シミュレーション)	(2)		◎工学基礎実験B(仮想シミュレーション)	(2)		◎機械設計製作法	(4)		◎プロジェクト研究入門	(2)		◎プロジェクト研究基礎演習	(2)		◎プロジェクト研究応用演習	(2)		◎卒業研究1	(3)		◎卒業研究2	(3)
13		◎電気・電子・ディジタル回路	(2)		◎機械静力学基礎	(2)		◎機械動力学基礎	(2)					◎材料工学	(2)	電								
14	機械電気工学系				◎機械静力学基礎演習	(2)		◎機械動力学基礎演習	(2)															
15					◎CAE概論	(2)		◎機械四力学基礎	(2)															
16	学科学科系	◎Cプログラミング1	(2)		◎計測制御プログラミング	(2)		◎データサイエンスA	(2)		◎データサイエンスB	(2)												
17					◎Cプログラミング2	(2)		◎データサイエンスA応用	(2)															
18	知能理工学系(基礎)																							
19	機構工学系										◎振動工学	(2)	電											
20	知能機構工学系(応用)				◎画像センシング工学	(2)		◎知能ロボティクス	(2)		◎ロボットプログラミング	(2)												
21																								
22	人間工学/生産管理系										◎ニューロインフォマティクス論	(2)		◎最適化工学	(2)	電								
23											◎生産システム管理	(2)	電											
24	電気機械工学系																							
25																								
26																								
27																								
28																								
29																								
30	自由科目	●機械システム工学基礎A	(2)		●機械システム工学基礎B	(2)																		

必修56単位*1
選択必修8単位
選択26単位*2

◎…必修科目 ○…選択必修科目 無印…選択科目 ●…自由科目

*開講期は変更されることがあります。時間割表に従って、履修してください。

*1「選択必修(8単位)」において必要な要件を超過して単位を修得した場合、*2「選択(26単位)」の要件に算入されます。

8 履修モデル(機械システム工学科)

問合せ先 教務センター

3つの履修モデル

機械システム工学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、3つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

メカトロニクスモデル：機械工学と制御技術を学ぶ

	1年		2年		3年		4年		計	
	春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
全学共通科目	全学共通科目 7	全学共通科目 7	全学共通科目 8	全学共通科目 12					34	
学部固有科目	工学基礎科目	数学系 解析学1 (2) 線形代数 (2) 線形代数演習 (2) 基礎数学 (2)	解析学2 (2)						12	
			幾何学 (2)						8	
				技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術者倫理 (2)				6
	リテラシ系	コンピュータ・リテラシ (2)				キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			
	キャリア系	キャリアデザイン (2)								
	実験・演習系	工学基礎実験A (2)	工学基礎実験B (2)	機械設計製作法 (4)	プロジェクト研究入門 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	20
	学科基幹科目	機械・電子工学系	電気・電子・デジタル回路 (2)	機械静力学基礎 (2)	機械動力学基礎 (2)		材料工学 (2)			16
				機械静力学基礎演習 (2)	機械動力学基礎演習 (2)					
			CAE概論 (2)	機械四力学基礎 (2)						
	知能情報工学系(基礎)	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2)	データサイエンスA (2)	データサイエンスB (2)					10
計測制御プログラミング (2)	データサイエンスA応用 (2)									
学科展開科目	機械工学系			振動工学 (2)	機械システム特別講義A (2)				4	
	知能情報工学系(応用)	画像センシング工学 (2)	知能ロボティクス数値シミュレーション (2)	ロボットプログラミング (2)					8	
	人間工学/生産管理系			生産システム管理 (2)					4	
	電気・情報工学系						システム制御工学 (2)		2	
自由科目	機械システム工学基礎A	機械システム工学基礎B	機械加工実験							
	25	25	26	24	10	6	5	3	124	

ロボティクスモデル：ロボット開発に必要な工学理論を学ぶ

	1年		2年		3年		4年		計	
	春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
全学共通科目	全学共通科目 7	全学共通科目 7	全学共通科目 8	全学共通科目 12					34	
学部固有科目	工学基礎科目	数学系 解析学1 (2) 線形代数 (2) 線形代数演習 (2) 基礎数学 (2)	解析学2 (2)						12	
			幾何学 (2)						8	
				技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術者倫理 (2)				2
	リテラシ系	コンピュータ・リテラシ (2)								
	キャリア系	キャリアデザイン (2)								
	実験・演習系	工学基礎実験A (2)	工学基礎実験B (2)	機械設計製作法 (4)	プロジェクト研究入門 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	20
	学科基幹科目	機械・電子工学系	電気・電子・デジタル回路 (2)	機械静力学基礎 (2)	機械動力学基礎 (2)		材料工学 (2)			16
				機械静力学基礎演習 (2)	機械動力学基礎演習 (2)					
			CAE概論 (2)	機械四力学基礎 (2)						
	知能情報工学系(基礎)	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2)	データサイエンスA (2)	データサイエンスB (2)					10
計測制御プログラミング (2)	データサイエンスA応用 (2)									
学科展開科目	機械工学系			ロボットプログラミング (2)					8	
	知能情報工学系(応用)	画像センシング工学 (2)	知能ロボティクス数値シミュレーション (2)	生産システム管理 (2)					4	
	人間工学/生産管理系				デジタル信号処理 (2)	機械学習論 (2)	システム制御工学 (2)			
	電気・情報工学系					画像信号計測・処理 (2)	画像信号計測・処理演習 (2)		10	
自由科目	機械システム工学基礎A	機械システム工学基礎B	機械加工実験							
	25	25	26	22	8	10	5	3	124	

知能システムモデル：人間情報や人工知能などの情報処理技術及び機械システムの設計・制御理論を学ぶ

	1年		2年		3年		4年		計	
	春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
全学共通科目	全学共通科目 7	全学共通科目 9	全学共通科目 8	全学共通科目 10					34	
学部固有科目	工学基礎科目	数学系 解析学1 (2) 線形代数 (2) 線形代数演習 (2) 基礎数学 (2)	解析学2 (2)						14	
			幾何学 (2)						8	
				技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術者倫理 (2)				6
	リテラシ系	コンピュータ・リテラシ (2)								
	キャリア系	キャリアデザイン (2)				キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			
	実験・演習系	工学基礎実験A (2)	工学基礎実験B (2)	機械設計製作法 (4)	プロジェクト研究入門 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	20
	学科基幹科目	機械・電子工学系	電気・電子・デジタル回路 (2)	機械静力学基礎 (2)	機械動力学基礎 (2)					12
				機械静力学基礎演習 (2)	機械動力学基礎演習 (2)					
				機械四力学基礎 (2)						
	知能情報工学系(基礎)	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2)	データサイエンスA (2)	データサイエンスB (2)					10
計測制御プログラミング (2)	データサイエンスA応用 (2)									
学科展開科目	機械工学系			ロボットプログラミング (2)					6	
	知能情報工学系(応用)	画像センシング工学 (2)	知能ロボティクス (2)	ニューロネットワーク論 (2)	最適化学 (2)	技術経営論 (2)			12	
	人間工学/生産管理系			生産システム管理 (2)	システム・シミュレーション (2)				2	
	電気・情報工学系					機械学習論 (2)				
自由科目	機械システム工学基礎A	機械システム工学基礎B								
	25	25	26	22	10	10	3	3	124	

工学基礎実験A / B (1年生 春/秋)

- ①この科目は、複数の実験から構成されており、すべての実験をグループ単位でローテーションしながら進めていきます。
- ②履修にあたってのグループ分け、集合場所、実施方法については、履修登録後にCHUKYO MaNaBoで案内します。

計測制御プログラミング(1年生秋)

- ①この科目は履修者制限科目です。履修者数が多数の場合は、自動的に抽選が行われ、抽選に合格した場合、CHUKYO ALBOの「成績表・履修時間割表」に科目名が表示されます。
- ②初回授業には必ず出席をしてください。

CAE概論(1年生秋)

- ①この科目は履修者制限科目です。履修者数が多数の場合は、自動的に抽選が行われ、抽選に合格した場合、CHUKYO ALBOの「成績表・履修時間割表」に科目名が表示されます。
- ②この科目は履修登録修正期間での履修登録はできません。
- ③初回授業には必ず出席をしてください。

機械加工実験(2年生)

- ①この科目は履修者制限科目です。履修者数が多数の場合は、自動的に抽選が行われ、抽選に合格した場合、CHUKYO ALBOの「成績表・履修時間割表」に科目名が表示されます。
- ②この科目は、自由科目です。
- ③この科目は、履修制限単位数に含まず、また卒業所要単位にも算入されません。

画像信号計測処理(3年生秋)

画像信号計測処理・演習(3年生秋)

上記2科目は選択科目ですが、履修する際はセット履修する方が望ましいです。「画像信号計測処理(講義)」のみ、又は「画像信号計測処理・演習(演習)」のみで履修するときは、履修時に科目担当教員に事前に了承を得た上で、教務センターに連絡してください。

プロジェクト研究入門(2年生秋:ゼミ)

- ①上記科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員決定方法

担当(指導)教員決定(ゼミ配属)は、2年生の春学期中に行います。ゼミ決定のスケジュールは、ゼミ配属説明会で案内します。

プロジェクト研究基礎演習(3年生春:ゼミ)

プロジェクト研究応用演習(3年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は2年生「プロジェクト研究入門」、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、2年生「プロジェクト研究入門」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は3年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、2年生で指導を受けた担当教員と3年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員変更届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。
ただし、「プロジェクト研究基礎演習」と「プロジェクト研究応用演習」の担当教員を変更することはできません。

卒業研究1(4年生春:ゼミ)

卒業研究2(4年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、2年生「プロジェクト研究入門」、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は4年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、3年生で指導を受けた担当教員と4年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員変更届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。
ただし、「卒業研究1」と「卒業研究2」の担当教員を変更することはできません。

■単位認定方法

「卒業研究」の単位を認定される為には、卒業研究論文を提出し審査を受けなければなりません。

■卒業研究論文の提出

- ①研究論文の形式及び体裁は担当教員から指示をします。
- ②提出期日・提出方法等は、CHUKYO ALBOで案内します。

機械システム工学基礎A/B(1年生 春/秋)

- ①この科目は、自由科目です。
- ②この科目は、履修制限単位数に含まず、また卒業所要単位にも算入されません。
- ③この科目は、教務センターにて履修登録を行います。履修を辞退する場合は、履修登録期間に登録を削除してください。

キャリアマネジメント1/2 (3年生 春/秋)

- ①この科目は、学内キャリア支援課と連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、事前に申し込みが必要です。申し込みに関する詳細(受付日・受付方法等)は、2年生の秋学期中(12~1月頃)にCHUKYO ALBOで案内します。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数及びGPA等により選抜を行います。
- ④「キャリアマネジメント2」は「キャリアマネジメント1」を修得した学生のみ履修できます。いずれかの科目のみの受講は認められていません。

インターンシップ(3年生)

- ①この科目は、3年生のみ履修ができます(再履修不可)。
- ②キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます。)
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

海外セミナー1・2

この科目は、グローバル教育センターの海外短期研修を修了し以下の要件を満たした者が、学部固有(選択)科目の「海外セミナー1及び2」として単位認定されます。

■参加・募集方法

グローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

■単位認定方法

- ①研修参加が決定した者は、研修出発前に必ず各学科の留学担当教員と面談し、課題等の指導を受けてください。
- ②各学科の留学担当教員は、教務センターで確認してください。
- ③研修終了後、課題レポート及び修了証明書を留学担当教員へ提出してください。
- ④単位が認定された場合の成績評価は「N(認定)」となります。※研修参加前後の留学担当教員との面談を行わなかったり、課題を提出しなかった場合は、単位認定はされません。
- ⑤単位認定の機会は2回あります。1回目は「海外セミナー1」、2回目は「海外セミナー2」として認定されます。
- ⑥履修登録は不要です。単位認定後の履修制限単位への算入もありません。
- ⑦4年生においては夏期のみが評価の対象となります。

他学科開講科目の履修

機械システム工学科生は、他学科履修として、電気電子工学科の科目が履修できます。履修可能な科目は、電気電子工学科「学部固有科目一覧表(他学科履修の欄)」で確認してください。修得した単位は、学部固有選択単位として10単位まで卒業要件に算入できます。10単位を超えて修得した単位は、自由単位(卒業要件に含まない)となります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

	1年			2年			3年			4年			卒業要件 (90単位)				
	春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期						
	1セメスター	2セメスター		3セメスター	4セメスター		5セメスター	6セメスター		7セメスター	8セメスター						
	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部		
工学基礎科目	基礎系	◎物理学(2)															
	数学系	◎微積分学1(2)	◎微積分学2(2)	○フーリエ解析(2)			◎科学技術英語(2)										
		◎線形代数学1(2)	◎線形代数学2(2)	○テータサイエンスA(2)	テータサイエンスB(2)												
	リエンジニア系	◎アカデミックスキルズ(2)									◎技術者倫理(2)						
		◎キャリアデザイン(2)									◎キャリアマネジメント1(2)	◎キャリアマネジメント2(2)					
	キャリア支援系							インターンシップ(2)									
								海外セミナー1(2)									
								海外セミナー2(2)									
	実験・実習系		◎物理学実験(2)		◎電気電子工学実験1(2)	◎電気電子工学実験2(2)	○電気電子工学実験3(2)				◎プロジェクト研究基礎演習(2)	◎プロジェクト研究応用演習(2)	◎卒業研究1(3)	◎卒業研究2(3)			
		電気電子工学基礎系	◎電気電子工学概論(2)		◎電磁気学1習実(3)	○電磁気学2習実(3)	○電気電子計測(2)	◎電気設計・製図(2)	機								
				◎電気回路1習実(3)	○電気回路2習実(3)												
プログラミング系		◎プログラミング1(2)	◎プログラミング2(2)														
コア基礎系							○制御・メカトロニクス概論(2)										
							○エレクトロニクス概論(2)										
							○通信工学概論(2)										
電気系								○パワーエレクトロニクス(2)	機	◎電気材料工学(2)	機						
								◎システム制御工学(2)	機	◎電力ネットワーク工学(2)	機	◎電気法規(2)	機				
							◎電気機器工学(2)	機	○電気エネルギー工学(2)	機							
	電子系									◎集積回路工学(2)	機						
								○物性基礎(2)	機	◎電子材料工学(2)	機						
									◎半導体・電子デバイス(2)	機							
	情報系							◎組み込みシステム(2)	機			◎大規模システム設計工学(2)	機				
								◎デジタル信号処理(2)	機								
							◎人工知能概論(2)	機									
	通信系									◎通信ネットワーク(2)	機	◎電波法規(2)	機				
							◎情報理論(2)	機	◎無線通信工学(2)	機							
							◎電波工学(2)	機									
総合系									◎電気電子特別講義(2)	機							
自由科目	◎数学基礎(2) ◎電気電子工学基礎A(2)	◎電気電子工学基礎B(2)															

必修54単位

選択必修14単位*1

選択22単位*2

◎…必修科目 ○…選択必修科目 無印…選択科目 ●…自由科目

*開講期は変更されることがあります。時間割表に従って、履修してください。

*1「選択必修(14単位)」において必要な要件を超過して単位を修得した場合、*2「選択(22単位)」の要件に算入されます。

11 履修モデル(電気電子工学科)

問合せ先 教務センター

3つの履修モデル

電気電子工学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、各専門分野に進むために必要な最低限の科目をピックアップし、3つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

■制御・メカトロニクスモデル

ロボット、自動車、家電、産業機器のような機械、電気と情報技術を組み合わせるシステムの設計、開発及び計測・制御に必要な知識と実践力を修得する。

		1年		2年		3年		4年		計	
		春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
工学基礎科目		11	13	10						34	
学部固有科目	基礎系	物理学 (2)								2	
	数学系	微分積分学1 (2)	微分積分学2 (2)	フーリエ解析 (2)	データサイエンスB (2)	離散数学 (2)					20
		線形代数学1 (2)	微分方程式 (2)	データサイエンスA (2)							
	リテラシ系	アカデミックスキル (2)			科学技術英語 (2)		技術者倫理 (2)			6	
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)				キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			6	
	実験・実習系		物理学実験 (2)	電気電子工学実験1 (2)	電気電子工学実験2 (2)	電気電子工学実験3 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	18
	電気電子工学基礎系	電気電子工学概論 (2)		電磁気学1・実習 (3)	電磁気学2・実習 (3)	電気電子計測 (2)					22
	プログラミング基礎系	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2)								4
	コース概論系				制御・メカトロニクス概論 (2)						2
	電気系					パワーエレクトロニクスシステム制御工学 (2)	電気エネルギー工学 (2)				6
電子系											
情報系					組み込みシステム (2)	人工知能概論 (2)				4	
通信系											
総合系											
		25	25	24	18	18	8	3		3 24	

■エレクトロニクスモデル

電子デバイスの構造や電子回路の基礎を理解し、組み込みシステムやVLSIなどの設計・開発に必要な知識と実践力を修得する。

		1年		2年		3年		4年		計	
		春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
工学基礎科目		11	13	10						34	
学部固有科目	基礎系	物理学 (2)								2	
	数学系	微分積分学1 (2)	微分積分学2 (2)	フーリエ解析 (2)		離散数学 (2)					18
		線形代数学1 (2)	微分方程式 (2)	データサイエンスA (2)							
	リテラシ系	アカデミックスキル (2)			科学技術英語 (2)		技術者倫理 (2)			6	
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)				キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			6	
	実験・実習系		物理学実験 (2)	電気電子工学実験1 (2)	電気電子工学実験2 (2)	電気電子工学実験3 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	18
	電気電子工学基礎系	電気電子工学概論 (2)		電磁気学1・実習 (3)	電磁気学2・実習 (3)						20
	プログラミング基礎系	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2)								4
	コース概論系				エレクトロニクス概論 (2)						2
	電気系						電力ネットワーク工学 (2)				2
電子系					組み込みシステム (2)	集積回路工学 (2)				8	
情報系					物性基礎 (2)	半導体・電子デバイス (2)				4	
通信系						画像信号計測・処理 (2)	大規模システム設計工学 (2)				
総合系											
		25	25	24	16	12	14	5		3 24	

■通信モデル

インターネット、無線通信など、通信システムを理解し、電気システムの通信技術を開発するために必要な知識と実践力を修得する。

		1年		2年		3年		4年		計	
		春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
工学基礎科目		11	13	10						34	
学部固有科目	基礎系	物理学 (2)								2	
	数学系	微分積分学1 (2)	微分積分学2 (2)	フーリエ解析 (2)	データサイエンスB (2)	離散数学 (2)					20
		線形代数学1 (2)	微分方程式 (2)	データサイエンスA (2)							
	リテラシ系	アカデミックスキル (2)			科学技術英語 (2)		技術者倫理 (2)			6	
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)				キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			6	
	実験・実習系		物理学実験 (2)	電気電子工学実験1 (2)	電気電子工学実験2 (2)	電気電子工学実験3 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	18
	電気電子工学基礎系	電気電子工学概論 (2)		電磁気学1・実習 (3)	電磁気学2・実習 (3)						20
	プログラミング基礎系	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2)								4
	コース概論系				通信工学概論 (2)						2
	電気系										
電子系											
情報系						デジタル信号処理 (2)				2	
通信系						情報理論 (2)	無線通信工学 (2)	電波法規 (2)		10	
総合系						電波工学 (2)	通信ネットワーク (2)				
		25	25	24	18	14	10	5		3 24	

物理学実験(1年生秋)

電気電子工学実験1(2年生春)

電気電子工学実験2(2年生秋)

- ①上記3科目は、複数の実験から構成されており、すべての実験をグループ単位でローテーションしながら進めていきます。
- ②履修にあたってのグループ分け、集合場所、実施方法については、初回の授業で案内します。

電気電子工学実験3(3年生春)

- ①この科目は、複数の実験から構成されており、自分が選択した実験をグループ単位でローテーションしながら進めていきます。
- ②この科目には前提科目があります。前提科目は、「電気電子工学実験1」及び「電気電子工学実験2」です。「電気電子工学実験3」を履修する場合、「電気電子工学実験1・2」の両科目を修得していなければなりません。
- ③履修にあたってのグループ分け、集合場所、実施方法については、初回の授業で案内します。

画像信号計測処理(3年生秋)

画像信号計測処理・演習(3年生秋)

上記2科目は選択科目ですが、履修する際はセット履修の方が望ましいです。「画像信号計測処理(講義)」のみ、又は「画像信号計測処理・演習(演習)」のみで履修するときは、履修時に科目担当教員に事前に了承を得た上で、教務センターに連絡してください。

プロジェクト研究基礎演習(3年生春:ゼミ)

プロジェクト研究応用演習(3年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員決定方法

- ①担当(指導)教員決定(ゼミ配属)は、2年生の秋学期中に行います。
- ②ゼミ決定のスケジュールは、ゼミ配属説明会で案内します。

卒業研究1(4年生春:ゼミ)

卒業研究2(4年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は4年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、3年生で指導を受けた担当教員と4年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。
ただし、「卒業研究1」と「卒業研究2」の担当教員を変更することはできません。

■単位認定方法

「卒業研究」の単位を認定される為には、卒業研究論文を提出し審査を受けなければなりません。

■卒業研究論文の提出

- ①研究論文の形式及び体裁は担当教員から指示をします。
- ②提出期日・提出場所等は、CHUKYO ALBOで案内します。

数学基礎(1年生春)

- ①この科目は、自由科目です。
- ②この科目は、履修制限単位に含まず、また卒業所要単位にも算入されません。
- ③教員から履修を勧められた学生は、履修するようにしてください。

電気電子工学基礎A/B(1年生 春/秋)

- ①この科目は、自由科目です。
- ②この科目は、履修制限単位に含まず、また卒業所要単位にも算入されません。
- ③この科目は、教務センターにて履修登録を行います。履修を辞退する場合は、履修登録期間に登録を削除してください。

キャリアマネジメント1/2 (3年生 春/秋)

- ①この科目は、学内キャリア支援課と連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、事前に申し込みが必要です。申し込みに関する詳細(受付日・受付方法等)は、2年生秋学期(12~1月頃)にCHUKYO ALBOで案内します。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数及びGPA等により選抜を行います。
- ④「キャリアマネジメント2」は「キャリアマネジメント1」を修得した学生のみ履修できます。いずれかの科目のみの受講は認められていません。

インターンシップ(3年生)

- ①この科目は、3年生のみ履修ができます(再履修不可)。
- ②キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます。)
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

海外セミナー1・2

この科目は、グローバル教育センターの海外短期研修を修了し以下の要件を満たした者が、学部固有(選択)科目の「海外セミナー1及び2」として単位認定されます。

■参加・募集方法

グローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

■単位認定方法

- ①研修参加が決定した者は、研修出発前に必ず各学科の留学担当教員と面談し、課題等の指導を受けてください。
- ②各学科の留学担当教員は、教務センターで確認してください。
- ③研修終了後、課題レポート及び修了証明書を留学担当教員へ提出してください。
- ④単位が認定された場合の成績評価は「N(認定)」となります。※研修参加前後の留学担当教員との面談を行わなかったり、課題を提出しなかった場合は、単位認定はされません。
- ⑤単位認定の機会は2回あります。1回目は「海外セミナー1」、2回目は「海外セミナー2」として認定されます。
- ⑥履修登録は不要です。単位認定後の履修制限単位への算入もありません。

他学科開講科目の履修

電気電子工学科生は、他学科履修として、機械システム工学科の科目が履修できます。履修可能な科目は、機械システム工学科「学部固有科目一覧表(他学科履修の欄)」で確認してください。修得した単位は、学部固有選択単位として10単位まで卒業要件に算入できます。10単位を超えて修得した単位は、自由単位(卒業要件に含まない)となります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

	1年			2年			3年			4年			卒業要件 (90単位)					
	春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期							
	1セメスター	2セメスター		3セメスター	4セメスター		5セメスター	6セメスター		7セメスター	8セメスター							
	科目名	単位	他者	科目名	単位	他者	科目名	単位	他者	科目名	単位	他者	科目名	単位	他者			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	基礎理論系	◎代数学 1	(2)		◎代数学 2	(2)		◎確率・統計	(2)									
		基礎数学	(2)		解析学	(2)		◎幾何学	(2)		グラフ理論	(2)						
		◎離散数学	(2)															
	理工基礎科目	リテラシー系				◎ライティング/コミュニケーション	(2)											
						◎技術英語 1	(2)		技術英語 2	(2)		技術英語 3	(2)		Foundations of Computer Science	(2)		
			◎キャリアデザイン	(2)					情報技術者倫理	(2)		キャリアマネジメント1	(2)		キャリアマネジメント2	(2)		
	キャリア支援系										インターンシップ (2)							
								海外セミナー1 (2)										
								海外セミナー2 (2)										
	実験実習系	学科学習科目						◎プロジェクト研究	(2)		◎プロジェクト研究基礎演習	(2)		◎プロジェクト研究応用演習	(2)	◎卒業研究 1	(3)	
						情報工学実験1	(2)		情報工学実験2	(2)		システム製作A	(2)		システム製作B	(2)	◎卒業研究 2	(3)
			◎C言語 1	(2)		C言語 2	(2)		Java言語 1	(2)		プログラミング応用 1	(2)		プログラミング応用 2	(2)		
								Java言語 1演習	(2)		Java言語 2	(2)		知識/知能プログラミング	(2)			
ソフトウェアシステム系	ソフトウェアシステム系	◎コンピュータのアーキテクチャと構成	(2)		オペレーティングシステム	(2)	×			ソフトウェア工学	(2)		コンパイル論	(2)				
					データベースシステム	(2)	×											
					◎ウェブ入門	(2)		コンピュータネットワーク	(2)		ウェブ工学	(2)		情報と通信の理論	(2)			
ハードウェア系	ハードウェア系	電気電子基礎	(2)		◎デジタル回路	(2)							デジタルシステム設計	(2)		組込み用アーキテクチャ	(2)	
					◎アルゴリズムとデータ構造 1	(2)		◎アルゴリズムとデータ構造 2	(2)		数値解析学	(2)						
					Pythonを用いた情報工学入門	(2)					オートマトンと言語理論	(2)						
情報志系	情報志系				人工知能	(2)		画像パターン処理	(2)		デジタル信号処理	(2)				暗号とセキュリティ	(2)	
										データサイエンス	(2)		最適化工学	(2)		情報工学特別講義A	(2)	×
														情報工学特別講義B	(2)	×		

必修 42 単位
選択 48 単位

◎…必修科目 無印…選択科目

※開講期は変更されることがあります。時間割表に従って、履修してください。

3つの履修モデル

情報工学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、3つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

■コンピュータエンジニアリングモデル

プログラミング技術に精通した情報エンジニアとして、必要なプログラミング言語、多様なプログラミング手法やアルゴリズムだけでなく、ハードウェアに関する知識を修得する。

		1年		2年		3年		4年		計	
		春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
全学共通科目		全学共通科目 (9)	全学共通科目 (13)	全学共通科目 (4)	全学共通科目 (8)					34	
学部固有科目	工学基礎科目	基礎理論系	代数学1 (2) 基礎数学 (2) 離散数学 (2)	解析学 (2) 代数学2 (2)	幾何学 (2)	確率・統計 (2)					14
		リテラシ系			ライティング/コミュニケーション (2) 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)		Foundations of Computer Science (2)			8
		キャリア支援系	キャリアデザイン (2)			情報技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			8
	学科基幹科目	実験・実習系			情報工学実験1 (2)	プロジェクト研究 (2) 情報工学実験2 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	18
		プログラミング系	C言語1 (2) C言語1演習 (2)	C言語2 (2)	Java言語1 (2) Java言語1演習 (2)	プログラミング応用1 (2) Java言語2 (2)	プログラミング応用2 (2)				16
	学科展開科目	ソフトウェアシステム系	コンピュータのアーキテクチャと構成 (2)		オペレーティングシステム (2)		ソフトウェア工学 (2)	コンパイル論 (2)			8
		ネットワーク系		ウェブ入門 (2)							2
		ハードウェア系	電気電子基礎 (2)	デジタル回路 (2)			デジタルシステム設計 (2)		組み込み用アーキテクチャ (2)		8
	情報工学系		アルゴリズムとデータ構造1 (2)	アルゴリズムとデータ構造2 (2)		オートマトンと言語理論 (2)	情報工学特別講義A (2)			8	
			25	25	20	22	14	10	5		3 24

■人工知能・データサイエンスモデル

目まぐるしく変化する人工知能、データサイエンス分野の進展や応用したシステム開発に対応できるよう、それらの基礎理論を理解するとともに、システム開発技術も修得する。

		1年		2年		3年		4年		計	
		春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
全学共通科目		全学共通科目 (11)	全学共通科目 (9)	全学共通科目 (4)	全学共通科目 (8)	全学共通科目 (2)				34	
学部固有科目	工学基礎科目	基礎理論系	代数学1 (2) 基礎数学 (2) 離散数学 (2)	解析学 (2) 代数学2 (2)	幾何学 (2)	確率・統計 (2)					14
		リテラシ系			ライティング/コミュニケーション (2) 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)					6
		キャリア支援系	キャリアデザイン (2)			情報技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			8
	学科基幹科目	実験・実習系			情報工学実験1 (2)	情報工学実験2 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	18
		プログラミング系	C言語1 (2) C言語1演習 (2)	C言語2 (2)	Java言語1 (2) Java言語1演習 (2)		知識/知能プログラミング (2)				12
	学科展開科目	ソフトウェアシステム系	コンピュータのアーキテクチャと構成 (2)		オペレーティングシステム (2) データベースシステム (2)						6
		ネットワーク系		ウェブ入門 (2)	コンピュータネットワーク (2)	ウェブ工学 (2)					6
		ハードウェア系		デジタル回路 (2)							2
	情報工学系		アルゴリズムとデータ構造1 (2) Pythonを用いた情報工学入門人工知能 (2)	アルゴリズムとデータ構造2 (2) 画像パターン処理 (2)	デジタル信号処理 (2) データサイエンス (2)	数値解析学 (2)	最適化工学 (2)			18	
			25	25	26	24	12	6	3		3 24

■ウェブネットワークモデル

高度なWEBサイトの構築に必要な知識・技術を修得。またLANやWAN、イントラネット、クラウドなどの多様なネットワーク応用システム構築に必要な素養を身につける。

		1年		2年		3年		4年		計	
		春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター		
全学共通科目		全学共通科目 (11)	全学共通科目 (9)	全学共通科目 (4)	全学共通科目 (8)	全学共通科目 (2)				34	
学部固有科目	工学基礎科目	基礎理論系	代数学1 (2) 基礎数学 (2) 離散数学 (2)	解析学 (2) 代数学2 (2)	幾何学 (2)	確率・統計 (2)					16
		リテラシ系			ライティング/コミュニケーション (2) 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術英語3 (2)				8
		キャリア支援系	キャリアデザイン (2)			情報技術者倫理 (2)					4
	学科基幹科目	実験・実習系			情報工学実験1 (2)	情報工学実験2 (2)	プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	16
		プログラミング系	C言語1 (2) C言語1演習 (2)	C言語2 (2)	Java言語1 (2) Java言語1演習 (2)	プログラミング応用1 (2) Java言語2 (2)					14
	学科展開科目	ソフトウェアシステム系	コンピュータのアーキテクチャと構成 (2)		オペレーティングシステム (2) データベースシステム (2)						6
		ネットワーク系		ウェブ入門 (2)	コンピュータネットワーク (2)	ウェブ工学 (2)		情報と通信の理論 (2)			8
		ハードウェア系		デジタル回路 (2)							2
	情報工学系		アルゴリズムとデータ構造1 (2) Pythonを用いた情報工学入門人工知能 (2)	アルゴリズムとデータ構造2 (2) 画像パターン処理 (2)	デジタル信号処理 (2)			情報工学特別講義B (2) 暗号とセキュリティ (2)			16
			25	25	26	26	8	4	7		3 24

「情報工学実験1」(2年生春)

「情報工学実験2」(2年生秋)

- ①上記2科目は、複数の実験から構成されており、すべての実験をグループ単位でローテーションしながら進めていきます。
- ②履修にあたってのグループ分け、集合場所、実施方法については、CHUKYO ALBO又はCHUKYO MaNaBoで案内します。

「システム製作A」(3年生春)

「システム製作B」(3年生秋)

- ①上記2科目は、担当教員により、製作物が異なります。履修にあたっては、担当教員とよく相談し、履修してください。
- ②この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数及びGPA等により選抜を行います。

「キャリアマネジメント1」(3年生春)

- ①この科目は、学内キャリア支援課と連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、事前に申し込みが必要です。申し込みに関する詳細(受付日・受付方法等)は、2年生秋学期(12~1月頃)にCHUKYO ALBOで案内します。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数及びGPA等により選抜を行います。

「キャリアマネジメント2」(3年生秋)

- ①この科目は、学内キャリア支援課と連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、「キャリアマネジメント1」を修得した学生のみ履修できます。

「プロジェクト研究」(2年生秋:ゼミ)

- ①この科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②この科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習/応用演習」、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員決定方法

- ①担当(指導)教員決定は、(ゼミ配属)は、2年生の春学期中(5~6月頃)に行います。
- ②ゼミ決定のスケジュールは、ゼミ配属説明会で案内します。メディア工学科教員のゼミを希望することができます。募集に関するスケジュールは、同じですが、メディア工学科教員のゼミを希望する場合は、希望教員とよく面談をして希望をするようにしてください。また、各自の単位修得状況や卒業要件をよく確認し、卒業に支障のないようにしてください。

「プロジェクト研究基礎演習」(3年生春:ゼミ)

「プロジェクト研究応用演習」(3年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、2年生「プロジェクト研究」及び4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、2年生「プロジェクト研究」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当(指導)教員の変更を希望する場合は、3年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、2年生で指導を受けた教員と3年生から指導を希望する教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められたこととなります。履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。

「卒業研究1」(4年生春:ゼミ)

「卒業研究2」(4年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は4年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、3年生で指導を受けた担当教員と4年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。
ただし、「卒業研究1」と「卒業研究2」の担当教員を変更することはできません。

■単位認定方法

「卒業研究」の単位を認定される為には、卒業研究論文を提出し審査を受けなければなりません。

■卒業研究論文の提出

- ①研究論文の形式及び体裁は担当教員から指示をします。
- ②提出期日・提出場所等は、CHUKYO ALBOで案内します。

「インターンシップ」(3年生)

- ①この科目は、3年生のみ履修ができます(再履修不可)。
- ②キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます。)
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

「海外セミナー1・2」

この科目は、グローバル教育センターの海外短期研修を修了し以下の要件を満たした者が、学部固有(選択)科目の「海外セミナー1及び2」として単位認定されます。

■参加・募集方法

グローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

■単位認定方法

- ①研修参加が決定した者は、研修出発前に必ず各学科の留学担当教員と面談し、課題等の指導を受けてください。
- ②各学科の留学担当教員は、教務センターで確認してください。
- ③研修終了後、課題レポート及び修了証明書を留学担当教員へ提出してください。
- ④単位が認定された場合の成績評価は「N(認定)」となります。
※研修参加前後の留学担当教員との面談を行わなかったり、課題を提出しなかった場合は、単位認定はされません。
- ⑤単位認定の機会は2回あります。1回目は「海外セミナー1」、2回目は「海外セミナー2」として認定されます。
- ⑥履修登録は不要です。単位認定後の履修制限単位への算入もありません。

他学科開講科目の履修

情報工学科生は、他学科履修として、メディア工学科の科目が履修できます。履修可能な科目は、メディア工学科「学部固有科目一覧表(他学科履修の欄)」で確認してください。修得した単位は、学部固有選択単位として10単位まで卒業要件に算入できます。10単位を超えて修得した単位は、自由単位(卒業要件に含まない)となります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

	1 年			2 年			3 年			4 年			卒業要件 (90単位)			
	春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期					
	1セメスター	2セメスター		3セメスター	4セメスター		5セメスター	6セメスター		7セメスター	8セメスター					
	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	
工学基礎科目	基礎理数系	◎幾何学(2)		◎代数学1(2)		◎代数学2(2)	解析学(2)		数値解析学(2)							
	リテラシー系			◎ライティング/コミュニケーション(2)												
	キャリア支援系	◎キャリアデザイン(2)					情報技術者倫理(2)		キャリアマネジメント1(2)	キャリアマネジメント2(2)						
									インターンシップ(2)							
									海外セミナー1(2)							
									海外セミナー2(2)							
実習・プロジェクト系	◎メディアデザイン実習A(2)			◎メディアデザイン実習A(2)			◎プロジェクト研究(2)		◎プロジェクト研究基礎実習(2)	◎プロジェクト研究応用実習(2)		◎卒業研究1(3)	◎卒業研究2(3)			
	◎メディアデザイン実習B(2)			◎メディアデザイン実習B(2)					工房実習(2)情							
	◎メディア工学入門(2)					メディア工学実習(2)										
	◎情報技術1(2)			◎情報技術2(2)						情報と通信の理論(2)		暗号とセキュリティ(2)				
	◎プログラミング基礎1(2)			◎プログラミング基礎2(2)												
				アルゴリズムとデータ構造1(2)			アルゴリズムとデータ構造2(2)									
				◎映像処理1(CG)(2)情		◎映像処理2(画像処理)(2)情		◎映像処理3(Computer Vision)(2)情								
						◎音響メディア1(Sound Design)(2)		◎音響メディア2(Sound Informatics)(2)			◎音響メディア3(Aural Technology)(2)					
				プログラミング応用A(2)		プログラミング応用B(2)		プログラミング応用C(2)								
メディア処理系																
メディア応用系	◎メディアデザイン1(Digital Art)(2)情			メディアデザイン2(CG)(2)情		メディアデザイン3(CAD)(2)	メディアデザイン4(CAE)(2)									
						情報デザイン(2)情	アルゴリズムデザイン(2)情	フィジカルコンピューティング(2)		映像音響表現(2)						
メディア社会系						Webデザイン(2)情	グラフィックデザイン(2)情	グラフィックデザイン2(2)情								
	◎クリエイティブコラボレーション(2)情			メディアと地域社会(2)		ICTとメディア社会(2)情		メディアとグローバル社会(2)								
特別講義系							メディア工学特別講義A(2)情		メディア工学特別講義B(2)情							

必修46単位
選択44単位

◎…必修科目 無印…選択科目

*開講期は変更されることがあります。時間割表に従って、履修してください。

17 履修モデル(メディア工学科)

問合せ先 教務センター

2つの履修モデル

メディア工学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、2つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

■メディア技術モデル

メディア工学およびデザイン学の知識と技能を基盤に、人工知能、CG映像生成、音声処理など、情報表現のためのシステム開発、実践的なソリューションの提案ができ、次世代型ITサービスの提供、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につける。

	1年		2年		3年		4年		計
	春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター	
	学部共通科目 工学基礎科目 基礎理論系 リテラシ系 キャリア支援系 実験・プロジェクト系 情報技術系 プログラミング系 メディア処理系 メディア応用系 メディア社会系 特別講義系	全学共通科目 (9) 幾何学 (2)	全学共通科目 (7) 代数学1 (2)	全学共通科目 (4) 代数学2 (2) 離散数学 (2)	全学共通科目 (6) 解析学 (2) 確率・統計 (2)	全学共通科目 (8)			
			ライティング /コミュニケーション 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	情報技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)		12
	キャリアデザイン (2)			情報技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			6
	メディアデザイン 実習A (2) メディア工学入門 (2)	メディアデザイン 実習B (2)	メディア工学実習 (2)	プロジェクト研究 (2)	プロジェクト研究 基礎演習 (2) 工房実習 (2)	プロジェクト研究 応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	8
	情報技術1 (ICTの基本) (2)	情報技術2 (ICTの応用) 人工知能 (2)	データサイエンス (2)						22
	プログラミング 基礎1 (2)	プログラミング 基礎2 (2)							8
		アルゴリズムと データ構造1 (2)	アルゴリズムと データ構造2 (2)						8
		◎映像処理1 (CG) (2)	映像処理2 (画像処理) (2) 音響メディア1 (Sound Design) (2)	映像処理3 (Computer Vision) (2) 音響メディア2 (Sound Information) (2)					16
		プログラミング 応用A (2)	プログラミング 応用B (2)	プログラミング 応用C (2)					2
	メディアデザイン1 (Digital Art) (2)	メディアデザイン2 (CG) (2)		クラフィック デザイン1 (2)					8
	クリエイティブ・ コラボレーション (2)								2
					メディア工学 特別講義B (2)				2
	25	25	24	24	16	4	3		3 124

■メディアデザインモデル

メディア工学およびデザイン学の知識と技能を基盤に、人工知能、CG映像生成、音声処理など、情報表現のためのシステム開発、実践的なソリューションの提案ができ、次世代型ITサービスの提供、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につける。

	1年		2年		3年		4年		計
	春学期 1セメスター	秋学期 2セメスター	春学期 3セメスター	秋学期 4セメスター	春学期 5セメスター	秋学期 6セメスター	春学期 7セメスター	秋学期 8セメスター	
	学部共通科目 工学基礎科目 基礎理論系 リテラシ系 キャリア支援系 実験・プロジェクト系 情報技術系 プログラミング系 メディア処理系 メディア応用系 メディア社会系 特別講義系	全学共通科目 (9) 幾何学 (2)	全学共通科目 (7) 代数学1 (2)	全学共通科目 (4) 代数学2 (2) 離散数学 (2)	全学共通科目 (6) 解析学 (2) 確率・統計 (2)	全学共通科目 (8)			
			ライティング /コミュニケーション 技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	情報技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)		8
	キャリアデザイン (2)			情報技術者倫理 (2)	キャリアマネジメント1 (2)	キャリアマネジメント2 (2)			6
	メディアデザイン実習A (2) メディア工学入門 (2)	メディアデザイン 実習B (2)		プロジェクト研究 (2)	プロジェクト研究 基礎演習 (2) 工房実習 (2)	プロジェクト研究 応用演習 (2)	卒業研究1 (3)	卒業研究2 (3)	8
	情報技術1 (ICTの基本) (2)	情報技術2 (ICTの応用) 人工知能 (2)	データサイエンス (2)						20
	プログラミング 基礎1 (2)	プログラミング 基礎2 (2)							8
		映像処理1 (CG) (2)	音響メディア1 (Sound Design) (2)	音響メディア2 (Sound Information) (2)		音響メディア3 (Aural Technology) (2)			4
		プログラミング 応用A (2)	メディアデザイン3 (CAD) (2)	音響メディア2 (Sound Information) (2)	音響メディア3 (Aural Technology) (2)				8
	メディアデザイン1 (Digital Art) (2)	メディアデザイン2 (CG) (2)	メディアデザイン3 (CAD) (2)	メディアデザイン4 (CAE) (2)					20
			情報デザイン (2)	アルゴリズム デザイン (2)	フィジカル コンピューティング デザイン (2)				2
			Webデザイン (2)	クラフィック デザイン1 (2)	クラフィック デザイン2 (2)				2
	クリエイティブ・ コラボレーション (2)	メディアと地域 社会 (2)	ICTとメディア 社会 (2)						6
				メディア工学 特別講義A (2)					2
	25	23	24	22	18	6	3		3 124

「メディアデザイン実習A/B」(1年生春・秋)

- ①この科目は、半期科目で、春学期・秋学期の両学期に開講されます。
- ②履修・修得は、どちらかの学期1回です。1年生の履修学期は、班指定がされています。履修学期は、時間割表で確認してください。

「メディア工学実習」(2年生春)

- ①この科目は、2年生のみ履修ができます。
- ②この科目は、複数の実習から構成されており、すべての実習をグループ単位でローテーションしながら進めていきます。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、1年生終了時の学部固有科目の総修得単位数及びGPA等により選抜を行います。
- ④履修にあたってのグループ分け、集合場所、実施方法については、CHUKYO ALBO又はCHUKYO MaNaBoで案内します。

「キャリアマネジメント1」(3年生春)

- ①この科目は、学内キャリア支援課と連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、事前に申し込みが必要です。申込みに関する詳細(受付日・受付方法等)は、2年生秋学期(12～1月頃)にCHUKYO ALBOで案内します。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数及びGPA等により選抜を行います。

「キャリアマネジメント2」(3年生秋)

- ①この科目は、学内キャリア支援課と連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、「キャリアマネジメント1」を修得した学生のみ履修できます。

「プロジェクト研究」(2年生秋:ゼミ)

- ①この科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②この科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習/応用演習」、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員決定方法

- ①担当(指導)教員決定は、(ゼミ配属)は、2年生の春学期中(5～6月頃)に行います。
- ②ゼミ決定のスケジュールは、ゼミ配属説明会で案内します。情報工学科教員のゼミを希望することができます。募集に関するスケジュールは、同じですが、情報工学科教員のゼミを希望する場合は、希望教員とよく面談をして希望をするようにしてください。また、各自の単位修得状況や卒業要件をよく確認し、卒業に支障のないようにしてください。

「プロジェクト研究基礎演習」(3年生春:ゼミ)

「プロジェクト研究応用演習」(3年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、2年生「プロジェクト研究」及び4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、2年生「プロジェクト研究」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当(指導)教員の変更を希望する場合は、3年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、2年生で指導を受けた教員と3年生から指導を希望する教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められたこととなります。履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。

「卒業研究1」(4年生春:ゼミ)

「卒業研究2」(4年生秋:ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は4年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、3年生で指導を受けた担当教員と4年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。
ただし、「卒業研究1」と「卒業研究2」の担当教員を変更することはできません。

■単位認定方法

「卒業研究」の単位を認定される為には、卒業研究論文を提出し審査を受けなければなりません。

■卒業研究論文の提出

- ①研究論文の形式及び体裁は担当教員から指示をします。
- ②提出期日・提出場所等は、CHUKYO ALBOで案内します。

「インターンシップ(3年生)」

- ①この科目は、3年生のみ履修ができます(再履修不可)。
- ②キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます。)
- ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

「海外セミナー1・2」

この科目は、グローバル教育センターの海外短期研修を修了し以下の要件を満たした者が、学部固有(選択)科目の「海外セミナー1及び2」として単位認定されます。

■参加・募集方法

グローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

■単位認定方法

- ①研修参加が決定した者は、研修出発前に必ず各学科の留学担当教員と面談し、課題等の指導を受けてください。
- ②各学科の留学担当教員は、教務センターで確認してください。
- ③研修終了後、課題レポート及び修了証明書を留学担当教員へ提出してください。
- ④単位が認定された場合の成績評価は「N(認定)」となります。
※研修参加前後の留学担当教員との面談を行わなかったり、課題を提出しなかった場合は、単位認定はされません。
- ⑤単位認定の機会は2回あります。1回目は「海外セミナー1」、2回目は「海外セミナー2」として認定されます。
- ⑥履修登録は不要です。単位認定後の履修制限単位への算入もありません。

「メディアデザイン3 (CAD) ・メディアデザイン4 (CAE) 」

- ①この科目は、定員が設定されています。
- ②「メディアデザイン4 (CAE) 」を履修するためには、「メディアデザイン3 (CAD) 」の単位を修得している必要があります。

他学科開講科目の履修

メディア工学学生は、他学科履修として、情報工学科の科目が履修できます。履修可能な科目は、情報工学科「学部固有科目一覧表(他学科履修の欄)」で確認してください。修得した単位は、学部固有選択単位として10単位まで卒業要件に算入できます。10単位を超えて修得した単位は、自由単位(卒業要件に含まない)となります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

オフィス・アワーについて

工学部では、学部の教員がみなさんの学習についての相談に応えるために、オフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話することはもちろんですが、研究室等においてきめ細かな対応や指導をうけることも出来ます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので、詳細はCHUKYO ALBO又は学部ホームページを確認してください。

修得モデル

工学部では、学修の目安となる修得モデルを設定しています。下表を参考にしながら、自身の単位修得状況をしっかりと把握し、計画的な学修を心がけてください。また目標GPAを参考にして学修の質の向上も目指してください。

【修得モデル表】

学年	終了時期	総修得単位	目標GPA
1年	1セメ	19以上	各セメ 2.5以上
	2セメ	38以上	
2年	3セメ	56以上	
	4セメ	74以上	
3年	5セメ	92以上	
	6セメ	110以上	
4年	7セメ	121以上	
	8セメ	124以上	

※1-3年生までは、各学期の履修登録制限単位数の約8割を目安としています。

履修・学修アドバイザー制度について

この制度は、成績評価や単位修得状況が一定の規準を下回る学生に①アドバイスを与え、②学修意欲の促進を期待し、③成績向上を目指すものです。工学部では、下表の規準により学修指導を実施します。学修指導の対象とならないように勉学に励んでください。

【学修アドバイス判断規準】

学年	セメスター	総修得単位数		GPA値
1	1セメ	14単位未満	又は	各セメ 1.0未満
	2セメ	留年者		
2	3セメ	44単位未満		
	4セメ	留年者		
3	5セメ	72単位未満		
	6セメ	留年者		
4	7セメ	100単位未満		
	8セメ	留年者		

【履修・学修アドバイザー制度の流れ】

- ①対象学生はCHUKYO ALBOで呼び出しを受けます。(4月・9月)
- ②呼び出しの配信に添付された「学修面談シート」に必要事項を記入します。
- ③担当教員(学生ケア委員又はゼミ指導教員)にアポイントをとり、面談を受けます。
- ④面談時に、「学修面談シート」を担当教員に提出します。

学生ケア委員の主な活動

1. 成績不振学生への個別指導
(履修・学修アドバイザー制度の統括)
2. 授業等に関する相談窓口
(日常の学習における質問や、専門分野の教員紹介など)
3. 学生生活に関する相談窓口
(関係部門への紹介も行います)

※各学科の学生ケア委員(学部教員)は、教務センターで確認してください。

全学開放科目

本学では、自分の所属学部以外の学部が開講している学部固有科目を履修・修得することができます。履修にあたっては履修登録制限単位に含まれます。修得した科目は、下記の表に従い卒業所要単位に含まれます。

対象科目

全学開放科目時間割表で確認してください。

履修方法

全学開放科目の履修希望者は以下の手順で履修の申込みを行ってください。

- ①CHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」を参照し、履修希望科目を決定してください。
- ②申込方法の詳細については、CHUKYO ALBOで確認し、申込みを行ってください。
※CHUKYO ALBOでの履修登録及び履修修正はできません。
- ③申込期間はCHUKYO ALBOで確認してください。

単位認定

卒業所要単位としては下表のとおり認定されます。

学部	単位数	認定区分
国際	8単位	フロート単位
文		全学共通選択単位
心理		
現代社会		
法		
総合政策		
経済		
経営		
スポーツ科		
工		

※各単位数を超えて修得した単位は自由単位となります。

注意事項

- ①履修登録制限単位に含まれます。
- ②履修を希望する科目の開講学部を確認してください。
- ③教室変更・試験日程等の連絡事項は、CHUKYO ALBO又は公式ホームページを確認してください。
- ④開講キャンパス(名古屋・豊田)が異なる学部の科目も履修できますが、移動時間(約1時間)を考慮して履修計画を立ててください。
- ⑤休講・補講等は、CHUKYO ALBOで確認してください。
- ⑥履修可能学年は科目によって異なります。詳細はCHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」で確認してください。

愛知県単位互換制度

愛知県内すべての4年制大学が加盟する愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」は、加盟大学に所属する学生が他の大学で開講される様々な科目を履修し、所属する大学の単位として認められる制度です。

出願条件

■出願可能学年

本学の出願可能学年は1～3年生です。4年生は履修申込み(出願)ができません。また、本学での単位修得状況がよくない学生は本学での履修を優先し、申込みは控えてください。

各科目に設定されている出願条件については(対象学年等)、「講義概要」を参照してください。

■年間履修制限単位数

年間履修制限単位数は4単位です。この単位は本学の履修登録制限単位に含みません。

出願手続き

■出願票記入

3月中旬頃、愛知学長懇話会ホームページに「各大学の開放科目」「講義概要」「科目開設大学概要」が公開されます。これらの情報を参照した上で、所定の出願票に必要な事項を記入してください(1科目につき1枚)。

出願票は、愛知学長懇話会ホームページからダウンロードするか、本学教務センター窓口で受け取ってください。

■出願票提出期間・提出先

出願票の提出期間は、年に1回4月上旬のみです(提出期間の詳細はCHUKYO ALBO「お知らせ」で通知)。秋学期開講科目も4月上旬に出願票を提出する必要がありますので注意してください。

提出先は本学教務センター窓口です。

■履修の可否

科目開設大学で履修の可否が審議された後、所属大学に結果が通知されます。科目によっては出願票に記入された「志望動機」に基づいて履修者の選考が行われる場合がありますので、「志望動機」は明確かつ具体的に記入してください。

出願者本人への履修可否通知は、4月下旬に、本学教務センターから行います。

■受講料

受講料は無料です。ただし、科目によっては、実験・実習等に必要実費について必要となる場合があります。

履修手続き

■履修手続き

履修許可の通知を受けた学生は、科目開設大学の指示に従って所定の履修手続きを行うことになります。また、履修登録日程の関係上、科目開設大学において履修者決定までの間、その授業の仮受講が認められていますので、出願票のコピー(本人控)を携帯し、仮の受講票とすることができます。

履修許可された後、受講の取りやめは原則としてできません。

■賠償責任保険加入

履修許可の通知を受けた学生は、学生教育研究災害傷害保険付帯の賠償責任保険に加入していただきます(340円)。

身分について

履修手続きを完了した学生は、科目開設大学で「単位互換履修生」又は「特別聴講学生」となります。科目開設大学によっては身分証明書が発行されます。単位互換履修生(特別聴講学生)は、科目開設大学の施設(図書館等)を利用することができますが、科目開設大学のルールに従って行動をしてください。

単位互換履修生(特別聴講学生)となった学生への連絡

単位互換履修生(特別聴講学生)となった学生への休講等の連絡については、原則として科目開設大学からの案内を確認してください。

単位認定

単位互換履修生(特別聴講学生)は、履修許可を受けた科目を履修し、当該科目の試験に合格すれば本学の卒業所要単位として単位認定を受けることができます(下表参照)。

ただし、他大学での履修科目と本学での履修科目が類似した内容である場合は、その程度により、試験に合格していても単位認定できないことがあります。

成績は当該学期終了後、本学教務センターからCHUKYO ALBOにて通知します。なお、試験に合格した場合の成績評価は、認定「N」とします。

学部	認定上限 単位数	認定区分
文	4単位	全学共通選択単位
国際		フロート単位
心理		全学共通選択単位
現代社会		
法		
総合政策		
経済		
経営		
工		
スポーツ科		全学共通選択単位

資格課程について

中京大学には、学士として卒業するための教育課程(以下では、学部教育課程といいます)のほかに、資格を取得するための資格課程が開設されています。この資格課程は、文部科学省や厚生労働省などの資格を与える公的機関から設置認可を受けた学部・学科に所属する学生に対して履修を認めています。しかし、司書課程や学芸員課程のように開設学部以外の学生が履修することのできる資格課程もありますので、下表を参照して取得可能な資格を確認してください。

資格課程は、学部教育課程と別に設置されているので、各資格課程に開講されている科目を修得しても、卒業所要単位には認められず、自由科目として扱われます。その代わりに、学部教育課程に設定されている履修登録制限単位に制限されることもありません。ただし、資格課程の必修科目や選択科目として全学共通科目や学部固有科目があてられている場合は履修登録制限単位に含まれます。

以下の資格を取得するには、各資格課程に定める科目を全て修得して、資格課程を修了することが必要です。

各学部で取得することのできる資格は、次のとおりです。

資格の種類(資格課程)	開設学部	履修できる学部
教員免許(教職課程)	全学部 ※	全学部 ※ (ただし、取得できる 免許教科が学部・学 科により異なります)
司書教諭 (司書教諭課程)	文	工以外
司書 (司書課程)	文	工以外
学芸員 (学芸員課程)	文・現代社会	工以外
社会教育主事〈任用資格〉 (社会教育主事課程)	現代社会	国際・工以外

※国際学部国際学科、工学部機械システム工学科、情報工学科、メディア工学科を除く

教員免許状取得について

教員免許状を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほかに、免許教科に応じて各学科の教職課程で開講されている科目の単位修得が必要となります。さらに、中学校教諭1種免許状を取得するには、介護等体験に参加する必要があります。

教職課程の履修開始は2年生からです。ただし、教員免許状取得に必要な科目のうち、一部科目については1年生より開講されているものもありますので、教職課程に入る前にあらかじめ修得しておくなど、計画的に履修するようにしてください。

詳細については、学年別の教職ガイダンスを実施しますので、希望者あるいは履修者は必ず出席してください。なお、各ガイダンス等で課されるレポート提出や申し込み手続等を期日までに行わなかった場合、教職課程の受付及び教職課程の継続はできないので注意してください。また教育実習等の学外実習や科目履修、各種申し込みについては付帯条件が課せられていることもあります（各ガイダンスで説明します）。

教職課程を履修するには、学費とは別に教職課程履修登録費・教職実習履修費を納入する必要があります。また、教育実習にかかわる保険料や介護等体験に参加する場合の諸費用等が必要です。

教職課程履修申し込み

1. 教職課程履修の申し込み手続きの受付は、1年生3月下旬に行います。なお、申し込みができるのは、事前に実施された「1年生教職課程ガイダンス」の出席者のみです。
2. 教職課程履修費は28,000円（教職課程履修登録費5,000円＋教職実習履修費23,000円）です。以下の要領に従って納入してください。
なお、納入した各履修費の返還はできません。

項目	金額	納入時期
教職課程履修登録費(注1)	5,000円	1年生の3月下旬
教職実習履修費(注1・2・3)	23,000円	2年生の3月下旬

- 注1. 金額は2023年度入学生のものであり、改定する場合があります。
 - 注2. 介護等体験へ参加するには、介護等体験費8,500円と賠償責任保険加入料210円（スポーツ科学部生除く）が別途必要です。
 - 注3. 教育実習の履修には、賠償責任保険加入料210円（工学部及びスポーツ科学部生除く）が別途必要です。
3. 中学校教諭1種免許状取得希望者は別途介護等体験の申し込みが必要です。

《履修上の注意》

以下の場合、必ず教務センター（教職支援係）へ連絡してください。

1. 教職課程を辞退（教員免許状取得を断念）する場合。
2. 諸事情により、介護等体験（3年生）や教育実習（4年生）を該当年次に行わない場合。
3. 取得希望の免許状の種類・免許教科を変更する場合。
4. 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載内容に変更があった場合。
5. 休学又は留学をする場合。（科目履修だけでなく学外実習（教育実習や介護等体験など）に影響します。計画段階で早めに相談してください。）
6. その他、教務センター（教職支援係）に伝達が必要と思われる事項。例えば、実習校からの連絡を受けた場合など。

教員免許状の交付

教員免許状の取得に必要な単位を修得し、所定期日に免許状の申請を行った方は、卒業時に教員免許状を受け取ることが出来ます。

1. 教員免許状を受け取るには、免許教科1件につき3,600円（交付申請料3,400円及び大学が発行する証明書手数料200円）が必要です。
2. 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一括して申請手続を行いますので、教員免許状取得見込の4年生は9月中旬の「教員免許状一括申請ガイダンス」に出席してください。

教職課程科目の履修登録

教職課程科目は、本学において「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に区分していますが、それぞれに必要な単位をすべて修得してください。

1. 「教職共通科目」「教科に関する科目」の中には1年生から開講される科目がありますので、計画的に履修を始めてください。
2. 「教科に関する科目」「教職に関する科目」は免許状の種類・免許教科に応じた科目を修得してください。
3. 「教職に関する科目」（学部固有科目としても開講している科目を除く）の単位は、履修制限単位には含まれません。また卒業所要単位にも算入されません。
4. 「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」の中には、複数学科合同開講や履修者数制限を行う科目、隔年開講する科目等があります。自己責任において漏れのないよう履修登録を行ってください。

介護等体験

1. 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の「社会福祉施設(5日間)」と「特別支援学校(2日間)」で合計7日間の介護等体験が義務づけられています。体験先や体験日程の決定については、CHUKYO ALBOで案内します。
2. 介護等体験のスケジュールについては、次頁の「教職課程行事予定表」を参照してください。
3. 介護等体験に先立って行われる「介護等体験の事前指導」を受講しなければ、介護等体験に参加することができません。
4. 介護等体験参加者は「賠償責任保険」への加入が義務づけられています（スポーツ科学部生除く）。
5. 介護等体験を終了すると、「証明書」（事前指導で配付）に介護等体験先の学校長・施設長より署名捺印が受けられます。この「証明書」は免許状申請手続の際に必要なので「体験記録」を添えて教務センター（教職支援係）へ提出してください。

マナー研修

「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」の履修要件として教務センター（教職支援係）が実施するマナー研修を受講済みであることが必要です。日程等の詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

教職課程行事予定表

●説明会・手続・履修 ◎教育実習 ■介護等体験 ☆免許申請

対象学年	実施時期	履修行事	注意事項
1年	12月～1月	●1年生教職課程ガイダンス	*教務センター(教職支援係)より履修方法と諸手続について説明します。 *このガイダンスに出席しないと、2年生からの教職課程への加入を認めません。
	3月下旬	●教職課程の履修可能者発表(特定の学部) ●課程履修の申込み手続	*CHUKYO ALBOで発表します。 *教職課程履修登録費5,000円を納入してください。 *未手続者は「教職に関する科目」の履修登録はできません。
2年	10月～11月	●2年生教職課程ガイダンス	*教職課程履修継続手続について説明します。 *このガイダンスで介護等体験の概要を説明します。 *このガイダンスに出席しないと、3年生からの教職課程の継続を認めません。
	3月下旬	■介護等体験事前指導(中学校免許取得希望者)(1日講習) ●課程履修の継続手続	*2年生教職課程履修者ガイダンスに出席し、中学校免許取得を希望している方を対象とします。 *日程はCHUKYO ALBOで発表します。 *教職実習履修費23,000円を納入してください。 *未手続者は「教職に関する科目」の履修登録はできません。
3年		●新3年生教職課程ガイダンス	*教育実習の依頼校の選定と受け入れ依頼の方法を説明します。
	4月中旬	■介護等体験費納入 ■介護等体験の賠償責任保険加入手続(スポーツ科学部除く)	*介護等体験事前指導に出席し、事前指導レポートを提出して体験参加が認められた方は、指定期間に体験費8,500円を納入してください。 *賠償責任保険については、別途ガイダンスでお伝えする方法で手続を済ませてください。
	4月下旬～5月下旬	◎教育実習受け入れの依頼 ◎愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習希望登録	*教育実習希望学校へは、原則各自で申込みをします。 *新3年生教職課程ガイダンスで依頼方法を説明しますので、それ以前に依頼しないようにしてください。 *愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習希望者は、新3年生教職課程ガイダンスで希望登録を実施します。
	6月中旬～6月下旬	■介護等体験先決定(社会福祉施設 5日間) ■介護等体験の資料配布	*教務センター(教職支援係)窓口で発表・配布します。
	7月上旬～中旬	■介護等体験先決定(特別支援学校 2日間) ■介護等体験の資料配布	
	7月上旬以降(指定日)	■介護等体験オリエンテーション	*社会福祉施設(5日間)、特別支援学校(2日間)とも決定先別オリエンテーションの指定日を確し、必ず出席してください。
	7月中旬～介護等体験開始日	■介護等体験による授業欠席届の提出開始	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *体験の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。
	名古屋:6月下旬 豊田:9月下旬	◎教育実習の自己紹介書提出	*未確定項目がある場合でも、期日までに一旦提出してください。
	8月～12月	■介護等体験の実施 ■証明書と体験記録の提出	*身なりや言動を正して体験を実施してください。 *計7日間の体験終了後、証明書と体験記録を教務センター(教職支援係)へ提出してください。
	12月	◎愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習手続	*愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習登録者に対して必要書類の手続を行います。
	2月下旬～3月下旬	◎マナー研修の実施	*必ず受講してください。日程等の詳細についてはCHUKYO ALBOで発表します。
	3月下旬	◎教育実習履修可能者判定	*教育実習履修要件の確認をします。
	4年		●新4年生教職課程ガイダンス
4月初旬		◎愛知県公立中、名古屋市立学校の実習校決定	*決定次第、対象者には、個別に必要な手続きの連絡をします。
4月上旬以降		◎教育実習期間と実習校との打合せ日程の確認	*実習校から届く回答を基に、各自で実習校に連絡をして日程を再確認してください。
4月中旬～教育実習開始日		◎教育実習による授業欠席届の提出開始 ◎教育実習の賠償責任保険加入手続(工学部及びスポーツ科学部除く)	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *実習の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。 *別途ガイダンスでお伝えする方法で手続きを済ませてください。
4月中旬～11月下旬		◎教育実習事前指導 ◎教育実習巡回指導教員との打合せ ◎教育実習事後指導	*実習中に担当教員(巡回指導教員)が実習校を訪問します。 *担当教員に実習中のスケジュール(研究授業日等)を伝え、訪問日を調整してください。
5月～11月		◎教育実習の実施	*身なりや言動を正して実習を実施してください。
9月中旬		☆教員免許状一括申請可能者判定	*3月卒業見込みで免許状申請に必要な単位を修得見込みか確認します。(一括申請とは、免許状の申請を大学でとりまとめて行うことです。)
9月下旬		☆教員免許状一括申請1次手続	*申請者登録カードの提出と同時に申請費用を納付してください。 *教育委員会へ免許状申請予定者として登録をします。
11月下旬		☆教員免許状一括申請2次手続	*教育委員会から登録者情報が出力されます。その内容を確認し必要事項を記入してください。
卒業式当日		◎教育実習記録と指導案の返却 教員免許状の交付	*免許状等は卒業証書とともに渡します。

注1. 教職課程行事の詳細は各ガイダンス又はCHUKYO ALBOで連絡します。

注2. 実施時期の変更や上記以外の手続きやガイダンスが発生する場合があります。その場合は、予めCHUKYO ALBO等で連絡します。

注3. 教職課程行事とは別に「教員採用試験対策」の行事(参加は任意)を実施しています。詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

取得できる免許教科

大学卒業者

学部	学科	免許状の種類	免許教科
工学部	電気電子工学科	高等学校教諭一種免許状	工業

教職課程履修要件

①2年生における教職課程履修要件

1年生終了までに卒業所要単位のうち35単位以上修得していなければなりません。教職課程履修有資格者は3月下旬にCHUKYO ALBOで連絡します。

②教育実習履修要件

免許状の種類	3年生終了時の卒業所要単位の修得単位数	教科教育法及び教職に関する科目の修得科目と修得科目数	マナー研修の受講
高等学校教諭1種 工業	90単位以上	工業科教育法を含む5科目以上を修得	教務センター(教職支援係)が実施するマナー研修を受講済みであること。

注1. 実習校への受け入れ内諾依頼は、実習を実施する前年度(原則、3年生)に学生本人が行います。

学生本人に加え、大学からも申請を必要とする学校などについては、新3年生教職課程ガイダンスで説明します。

注2. 教育実習中に本人の過失による重大なトラブルが発生した場合は、教育実習期間中であっても実習を中止する場合があります。

教職共通科目【高1種/工業】

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				
	授業科目	単位数		履修可能学年	修得科目チェック
		必修	選択必修		
日本国憲法	日本国憲法	2		1～4年	
体 育	健康科学		2	1科目2単位 選択必修	1～4年
	スポーツ科学		2		1～4年
	卓球		1	2科目 2単位 選択必修	1～4年
	硬式テニス		1		1～4年
	バドミントン		1		1～4年
	ゴルフ		1		1～4年
	ニュースポーツ		1		1～4年
	バレーボール		1		1～4年
	バスケットボール		1		1～4年
	ソフトボール		1		1～4年
	サッカー		1		1～4年
	トレーニング		1		1～4年
	フィットネス		1		1～4年
	エアロビクス		1		1～4年
	シーズンスポーツ・ゴルフ		1		1～4年
	シーズンスポーツ・スケート		1		1～4年
	アダプテッドスポーツA		1		1～4年
アダプテッドスポーツB		1	1～4年		
外国語コミュニケーション	ベーシック英語コミュニケーションA		1	2科目 2単位 選択必修	1～4年
	ベーシック英語コミュニケーションB		1		1～4年
	エレメンタリー英語コミュニケーションA		1		1～4年
	エレメンタリー英語コミュニケーションB		1		1～4年
	インターメディアイト英語コミュニケーションA		1		1～4年
	インターメディアイト英語コミュニケーションB		1		1～4年
	アドバンスト英語コミュニケーションA		1		1～4年
	アドバンスト英語コミュニケーションB		1		1～4年
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	アカデミックスキルズ	2		1～4年	

教職に関する科目【高1種/工業】

免許法施行規則に定める 科目区分等	左記に対応する開設授業科目				
	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修可能 学年
必修			選択必修		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		2~4年	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		2~4年	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論	2		2~4年	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営	2		2~4年	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		2~4年	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1		3~4年	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	工業科教育法	4		3~4年	
特別活動の指導法	特別活動の方法	1		3~4年	
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1		3~4年	
教育の方法及び技術	教育方法論	1		3~4年	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術の活用	1		3~4年	
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の方法	2		4年	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2		3~4年	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2		4年	
教育実習	教育実習II	3		4年	
●単位数 教員の免許状取得のための必要単位数 28単位					

注1. 教職に関する科目は、履修登録制限単位に含まれません。また、卒業所要単位にも算入しません。

注2. 科目の開講については時間割表で確認してください。

注3. 「教職実践演習(中・高)」を履修するにあたり、所定の期間内に本学指定の「教職課程履修カルテ」を教務センター(教職支援係)に提出することが要件となります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

電気電子工学科

教科に関する科目【高1種/工業】

免許法施行規則に 定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				
	授業科目	単位数		履修可能学年	修得科目 チェック
		必修	※選択必修		
工業の関係科目	電気電子工学概論	2		1～4年	
	電気電子工学実験1	2		2～4年	
	電気電子工学実験2	2		2～4年	
	電磁気学1・実習	3		2～4年	
	電気回路1・実習	3		2～4年	
	電子回路	2		2～4年	
	電磁気学2・実習		3	2～4年	
	電気回路2・実習		3	2～4年	
	制御・メカトロニクス概論		2	2～4年	
	エレクトロニクス概論		2	2～4年	
	通信工学概論		2	2～4年	
	パワーエレクトロニクス		2	3～4年	
	電気エネルギー工学		2	3～4年	
	電気機器工学		2	3～4年	
	半導体・電子デバイス		2	3～4年	
	電子材料工学		2	3～4年	
	情報理論		2	3～4年	
	職業指導	キャリアデザイン	2		1～4年
技術者倫理		2		3～4年	
キャリアマネジメント1			2	3年	

●単位数 教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 36単位

注1. 選択必修科目・・・16科目34単位より18単位選択必修

注2. 上記科目は履修登録制限単位・卒業所要単位にも算入します。

注3. 科目の開講については時間割表で確認してください。

電気主任技術者とは、事業用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせるため、設置者が法律上必ず置かねばならない電気保安の確保のための技術責任者のことをいいます。

電気事業法(経済産業省)の規定に基づき、電気電子工学科において、下記の「指定科目」を修得して卒業後、所定の実務経験年数を有するものは、申請によって電気主任技術者(第一種から第三種まで)の資格を取得することができます。

資格取得を希望する学生は、計画的に「指定科目」を修得してください。

科目区分	資格認定基準の授業内容と必要単位数		指定科目(本学授業科目) ◎必修 ○選択 必修 無印は選択	単位数	必要単位	履修可能 学年	修得科目 チェック
①電気工学又は電子工学等の基礎に関するもの	第一欄	電磁気学	◎電磁気学1・実習	3	必修 14単位	2~4年	
		電磁気学2・実習	3	2~4年			
		電気回路	◎電気回路1・実習	3		2~4年	
		電気回路2・実習	3	2~4年			
	第二欄	電気計測又は電子計測	○電気電子計測	2	選択 3単位 以上	3~4年	
		電子回路	◎電子回路	2		2~4年	
		電子デバイス工学	◎デジタル回路とHDL 半導体・電子デバイス	2 2		2~4年 3~4年	
		システム基礎論	◎電気電子工学概論	2		1~4年	
		電気電子物性	○物性基礎	2		3~4年	
②発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関するもの	第一欄	発電工学又は発電用原動機に関するもの	○電気エネルギー工学	2	必修 6単位	3~4年	
		変電工学	電力ネットワーク工学	2		3~4年	
		送配電工学					
		電気法規	電気法規	2		4年	
	第二欄	高電圧工学			選択 2単位 以上		
		エネルギー変換工学					
		電力システム工学					
		放電工学					
		電気材料(絶縁材料を含むこと)	電気材料工学	2		3~4年	
		技術者倫理	技術者倫理	2		3~4年	
③電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝送及び処理に関するもの	第一欄	電気機器学	電気機器工学	2	必修 6単位	3~4年	
		パワーエレクトロニクス	○パワーエレクトロニクス	2		3~4年	
		自動制御又は制御工学	システム制御工学	2		3~4年	
	第二欄	電気応用			選択 4単位 以上		
		メカトロニクス	○制御・メカトロニクス概論	2		2~4年	
		電気光変換					
		情報伝送及び処理	○情報理論	2		3~4年	
		電子計算機	○デジタル信号処理	2		3~4年	
		省エネルギー	組み込みシステム	2		3~4年	
④電気工学もしくは電子工学実験又は電気工学もしくは電子工学実習に関するもの	第一欄	電気基礎実験	◎物理学実験	2	必修 8単位	1~4年	
			◎電気電子工学実験1	2		2~4年	
		電気応用実験	◎電気電子工学実験2	2		2~4年	
	第二欄	電気実習	○電気電子工学実験3	2	3~4年		
		電子実験					
		電子実習					
⑤電気及び電子機器設計又は電気及び電子機器製図に関するもの	第二欄	電気機器設計	電気設計・製図	2	必修 2単位	3~4年	
		電気製図					
		自動設計製図(CAD)					
		電子回路設計					
		電子製図					
合計		43単位			※49単位		

※資格取得に必要な合計単位数は49単位です。各科目区分①~⑤の必要単位合計45単位に加え、科目区分①~④内で必要単位を超過した合計4単位の修得が必要です。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

電気通信主任技術者とは、電気通信ネットワークの工事、維持及び運用の監督責任者のことをいいます。

この資格を取得するには、国家試験に合格する必要がありますが、電気通信事業法(総務省)・電気通信主任技術者規則に基づき、電気電子工学科において、下記の「指定科目」を修得することにより、国家試験科目の一部(電気通信システム)が免除されます。

資格取得を希望する学生は、計画的に「指定科目」をすべて修得してください。

科目区分	資格認定基準の授業内容		指定科目(本学授業科目) ◎必修 ○選択必修 無印は選択	単位数	履修可能 学年	修得科目 チェック
基礎専門教育科目	数学	数学に関する授業	◎微分積分学1	2	1~4年	
			◎微分積分学2	2	1~4年	
			◎線形代数学1	2	1~4年	
			◎線形代数学2	2	1~4年	
	物理学	物理学に関する授業	◎物理学	2	1~4年	
			◎物理学実験	2	1~4年	
	電磁気学	真空中の静電界 真空中の導体系 誘電体内の静電界 電流、電圧、電力 電流による静磁界 静磁界 電磁誘導とインダクタンス 電磁波	◎電磁気学1・実習	3	2~4年	
			○電磁気学2・実習	3	2~4年	
	電気回路	電流、電圧、電力 オームの法則 キルヒホッフの法則 回路と微分方程式 フーリエ変換 過渡現象 正弦波交流 四端子網回路	◎電気回路1・実習	3	2~4年	
			○電気回路2・実習	3	2~4年	
	電子回路	ダイオードとトランジスタ 増幅回路 発振回路 変復調回路	◎電子回路	2	2~4年	
			○電気電子工学実験3	2	3~4年	
	デジタル回路	トランジスタの動特性とスイッチング機能 マルチバイブレータ 論理式と論理記号 ゲート回路 フリップフロップ	◎デジタル回路とHDL	2	2~4年	
			半導体・電子デバイス	2	3~4年	
	情報工学	情報理論 電子計算機 プログラミング	◎論理回路基礎	2	1~4年	
			○情報理論	2	3~4年	
			◎Cプログラミング1	2	1~4年	
	電気計測	電圧測定 インピーダンス測定 電流測定 S/N測定 電力測定 減衰量測定 増幅度 周波数測定 周波数特性測定 光パワー測定 光波長測定	○電気電子計測	2	3~4年	
			◎電気電子工学実験1	2	2~4年	
			◎電気電子工学実験2	2	2~4年	
専門教育科目	伝送線路工学	分布定数回路 基礎方程式と1次定数、2次定数 整合、反射、短絡、開放 結合と漏話	○通信工学概論	2	2~4年	
	交換工学	交換の原理 交換方式 交換機の種類と動作 信号方式と番号方式 トラヒック理論の基礎	通信ネットワーク	2	3~4年	
			無線通信工学	2	3~4年	
電気通信システム	電気通信網の種類と構成 電気通信システムの基本的要素と基本機能	電気電子特別講義	2	3~4年		

無線従事者とは、電波法で規定される、無線設備の操作、及びその操作の監督を行うために必要な資格をもつ者をいいます。

電波法(総務省)・無線従事者規則に基づき、電気電子工学科において、下記の「指定科目」を修得することにより、第一級陸上特殊無線技士及び第三級海上特殊無線技士の資格が得られます。また、第一級陸上無線技術士国家試験の一部(無線工学の基礎)が免除されます。ただし、免除期間は卒業後3年間です。

資格取得を希望する学生は、計画的に「指定科目」をすべて修得してください。

●第一級陸上特殊無線技士

科目区分	指定科目(本学授業科目) ◎必修 ○選択必修 無印は選択	単位数	履修可能 学年	修得科目 チェック
無線機器学その他無線機器に関する科目	無線通信工学	2	3~4年	
電磁波工学その他空中線系及び電波伝搬に関する科目	電波工学	2	3~4年	
電子計測その他無線測定に関する科目	○電気電子計測	2	3~4年	
	○電気電子工学実験3	2	3~4年	
電波法規その他電波法令に関する科目	電波法規	2	4年	

●第三級海上特殊無線技士

科目区分	指定科目(本学授業科目)	単位数	履修可能 学年	修得科目 チェック
無線機器学その他無線機器に関する科目	無線通信工学	2	3~4年	
電磁波工学その他空中線系及び電波伝搬に関する科目	電波工学	2	3~4年	
電波法規その他電波法令に関する科目	電波法規	2	4年	

●第一級陸上無線技術士

科目区分	指定科目(本学授業科目) ◎必修 ○選択必修 無印は選択	単位数	履修可能 学年	修得科目 チェック	
基礎専門教育科目	数学	◎微分積分学1	2	1~4年	
		◎微分積分学2	2	1~4年	
		◎線形代数学1	2	1~4年	
		離散数学	2	3~4年	
		◎線形代数学2	2	1~4年	
		◎複素数とベクトル解析	2	1~4年	
		○フーリエ解析	2	2~4年	
		○データサイエンスA	2	2~4年	
		データサイエンスB	2	2~4年	
	物理	◎論理回路基礎	2	2~4年	
		◎物理学	2	1~4年	
		◎物理学実験	2	1~4年	
		○エレクトロニクス概論	2	2~4年	
	電気磁気学	○物性基礎	2	3~4年	
		◎電磁気学1・実習	3	2~4年	
		◎電磁気学2・実習	3	2~4年	
	半導体及び電子管並びに電子回路の基礎	電波工学	2	3~4年	
		無線通信工学	2	3~4年	
		半導体・電子デバイス	2	3~4年	
		電子材料工学	2	3~4年	
	電気回路	集積回路工学	2	3~4年	
		◎電子回路	2	2~4年	
		◎電気回路1・実習	3	2~4年	
		○電気回路2・実習	3	2~4年	
	電気磁気測定	◎デジタル回路とHDL	2	2~4年	
		組み込みシステム	2	3~4年	
		○電気電子計測	2	3~4年	
		◎電気電子工学実験1	2	2~4年	
電気磁気測定	◎電気電子工学実験2	2	2~4年		
	○電気電子工学実験3	2	3~4年		
	◎プロジェクト研究基礎演習	2	3~4年		

電気主任技術者

指定科目をすべて修得し、所定の実務経験を満たした後に資格を得ることができます。取得を希望する方は、実務経験を有した後、各自申請を行ってください。

申請の際に以下2点の書類が必要となります。資格申請時に教務センター窓口もしくは郵送で申し込み、用意してください。

- ・学位授与・卒業証明書
- ・単位取得証明書(電気主任技術者申請用)※開封無効

問合せ先

「公益社団法人 日本電気技術者協会」

電気通信主任技術者

指定科目をすべて修得した卒業生は、国家試験受験時に「電気通信システム」の科目が免除されます。取得を希望する方は、卒業後各自受験してください。

科目免除を申請する際に以下の書類が必要となります。資格申請時に教務センター窓口もしくは郵送で申し込み、用意してください。

- ・科目履修証明書(電気通信主任技術者申請用)

※発行後半年以内有効

問合せ先

「一般財団法人 日本データ通信協会 電気通信国家試験センター」

第一級陸上特殊無線技術士・第三級海上無線技士

指定科目をすべて修得することにより、資格が取得できます。取得を希望する場合は卒業後、各自申請してください。

申請する際に、以下2点の書類が必要となります。資格申請時に教務センター窓口もしくは郵送で申し込み、用意してください。

- ・学位授与・卒業証明書
- ・成績・単位修得証明書

問合せ先

「公益財団法人 日本無線協会」

第一級陸上無線技術士

指定科目をすべて修得した学生は、国家試験受験時に「無線工学の基礎」の科目が免除されます。ただし免除期間は卒業後三年間です。

科目免除を申請する際に以下2点の書類が必要となります。資格申請時に教務センター窓口か郵送で申し込み、用意してください。

- ・学位授与・卒業証明書
- ・成績・単位修得証明書

問合せ先

「公益財団法人 日本無線協会」

卒業後の証明書発行

卒業後に上記証明書の発行を希望する場合は、中京大学のHPに申込方法等が掲載されていますので参照してください。

全学共通科目	教養発展科目	中国語演習Ⅱ	2			○		○		○	2単位選択必修			
		中国語応用Ⅰ	2			○		○		○				
		中国語応用Ⅱ	2			○		○		○				
		スペイン語演習Ⅰ	2			○		○		○				
		スペイン語演習Ⅱ	2			○		○		○				
		スペイン語応用Ⅰ	2			○		○		○				
		スペイン語応用Ⅱ	2			○		○		○				
		韓国朝鮮語演習Ⅰ	2			○		○		○				
		韓国朝鮮語演習Ⅱ	2			○		○		○				
		韓国朝鮮語応用Ⅰ	2			○		○		○				
		韓国朝鮮語応用Ⅱ	2			○		○		○				
		教養トピック講義	2			○		○		○				
		中京大学を知る	2	○	○	○	○	○	○	○		○		
		海外教養科目	4	○	○	○	○	○	○	○		○		
		分割認定可												
		外国人留学生用日本語科目等												
		学部固有科目	基礎理論系	大学生のための日本語ⅠA	1	○	○	○	○	○		○		4単位選択必修
				大学生のための日本語ⅠB	1	○	○	○	○	○		○		
大学生のための日本語ⅡA	1			○	○	○	○	○	○					
大学生のための日本語ⅡB	1			○	○	○	○	○	○					
大学生のための日本語ⅢA	1			○	○	○	○	○	○					
大学生のための日本語ⅢB	1			○	○	○	○	○	○					
大学生のための日本語ⅣA	1			○	○	○	○	○	○					
大学生のための日本語ⅣB	1			○	○	○	○	○	○					
総合日本語ⅠA	2			○	○	○	○	○	○					
総合日本語ⅠB	2			○	○	○	○	○	○					
総合日本語ⅠC	2		○	○	○	○	○	○						
総合日本語ⅠD	2		○	○	○	○	○	○						
総合日本語ⅡA	2		○	○	○	○	○	○						
総合日本語ⅡB	2		○	○	○	○	○	○						
総合日本語ⅡC	2		○	○	○	○	○	○						
総合日本語ⅡD	2		○	○	○	○	○	○						
「総合日本語ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD」を履修する場合は、セツトで履修登録しなければならない。「総合日本語ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD」も同様。														
日本事情ⅠA	2		○	○	○	○	○	○						
日本事情ⅠB	2		○	○	○	○	○	○						
日本事情ⅡA	2		○	○	○	○	○	○						
日本事情ⅡB	2		○	○	○	○	○	○						
日本事情ⅢA	2		○	○	○	○	○	○						
日本事情ⅢB	2		○	○	○	○	○	○						
ビジネス日本語Ⅰ	2								○					
ビジネス日本語Ⅱ	2								○					
日本語ⅠA	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅠB	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅠC	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅡA	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅡB	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅡC	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅢA	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅢB	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅢC	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅣA	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅣB	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅣC	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅤA	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅤB	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語ⅤC	2		●	●	●	●	●	●	●					
日本語学	2				●	●	●	●						
日本語教授法	2			●		●	●	●						
日本語教育実習	2			●		●	●	●						
工学基礎科目	リテラシー系	代数学Ⅰ	2	○							基礎理論系			
		代数学Ⅱ	2		○									
		離散数学	2	○										
		解析学	2		○									
		基礎数学	2	○										
		幾何学	2		○									
		確率・統計	2			○								
		グラフ理論	2				○							
		ライティング/コミュニケーション	2			○								
		技術英語Ⅰ	2			○								
	技術英語Ⅱ	2				○								
	技術英語Ⅲ	2					○							
	Foundations of Computer Science	2						○						
	キャリアデザイン	2	○											
	キャリアマネジメントⅠ	2						○						
	キャリアマネジメントⅡ	2							○					
	情報技術者倫理	2						○						
	インターンシップ	2							○					
	海外セミナーⅠ	2	○	○	○	○	○	○	○	○				
	海外セミナーⅡ	2	○	○	○	○	○	○	○	○				

学部固有科目	学 科 基 幹 科 目	実験・実習系	プロジェクト研究	2				○			
			プロジェクト研究基礎演習	2					○		
			プロジェクト研究応用演習	2						○	
			卒業研究Ⅰ	3							○
			卒業研究Ⅱ	3							○
			情報工学実験Ⅰ	2				○			
			情報工学実験Ⅱ	2				○			
			システム製作A	2					○		
			システム製作B	2						○	
			C言語Ⅰ	2			○				
			C言語Ⅰ演習	2			○				
			C言語Ⅱ	2			○				
			Java言語Ⅰ	2				○			
			Java言語Ⅰ演習	2				○			
			Java言語Ⅱ	2					○		
	プログラミング応用Ⅰ	2				○					
	プログラミング応用Ⅱ	2					○				
	知識/知能プログラミング	2						○			
	コンピュータのアーキテクチャと構成	2				○					
	オペレーティングシステム	2				○					
	データベースシステム	2					○				
	ソフトウェア工学	2						○			
	コンパイラ論	2							○		
	ウェブ入門	2				○					
	コンピュータネットワーク	2					○				
	ウェブ工学	2						○			
	情報と通信の理論	2							○		
	電気電子基礎	2				○					
	デジタル回路	2				○					
	デジタルシステム設計	2						○			
組込み用アーキテクチャ	2							○			
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2				○						
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2					○					
Pythonを用いた情報工学入門	2				○						
人工知能	2				○						
画像パターン処理	2					○					
デジタル信号処理	2						○				
数値解析学	2						○				
オートマトンと言語理論	2							○			
最適化工学	2						○				
データサイエンス	2					○					
暗号とセキュリティ	2							○			
情報工学特別講義A	2							○			
情報工学特別講義B	2							○			

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる単位数の限度	26	26	26	26	24	24	24	24

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

学部 共通科目	全学共通科目	グローバルコミュニケーション	2単位選択必修																						
			中国語演習Ⅱ	中国語応用Ⅰ	中国語応用Ⅱ	スペイン語演習Ⅰ	スペイン語演習Ⅱ	スペイン語応用Ⅰ	スペイン語応用Ⅱ	韓国朝鮮語演習Ⅰ	韓国朝鮮語演習Ⅱ	韓国朝鮮語応用Ⅰ	韓国朝鮮語応用Ⅱ	教養トピック講義	中京大学を知る	海外教養科目									
学部 固有科目	外国人留学生用日本語科目等	4単位選択必修																							
		大学生のための日本語ⅠA	大学生のための日本語ⅠB	大学生のための日本語ⅡA	大学生のための日本語ⅡB	大学生のための日本語ⅢA	大学生のための日本語ⅢB	大学生のための日本語ⅣA	大学生のための日本語ⅣB	総合日本語ⅠA	総合日本語ⅠB	総合日本語ⅠC	総合日本語ⅠD	総合日本語ⅡA	総合日本語ⅡC	総合日本語ⅡD									
学部 固有科目	工学基礎科目	基礎理論系	4単位選択必修																						
			日本事務ⅠA	日本事務ⅠB	日本事務ⅡA	日本事務ⅡB	日本事務ⅢA	日本事務ⅢB	ビジネス日本語Ⅰ	ビジネス日本語Ⅱ	日本語ⅠA	日本語ⅠB	日本語ⅠC	日本語ⅡA	日本語ⅡB	日本語ⅡC	日本語ⅢA	日本語ⅢB	日本語ⅢC	日本語ⅣA	日本語ⅣB	日本語ⅣC	日本語ⅤA	日本語ⅤB	日本語ⅤC
学部 固有科目	工学基礎科目	キャリア支援系	分割認定可																						
			幾何学	代数1	代数2	解析学	確率・統計	数値解析学	ライティング/コミュニケーション	技術英語1	技術英語2	キャリアデザイン	情報技術者倫理	キャリアマネジメント1	キャリアマネジメント2	インターンシップ	海外セミナー1	海外セミナー2							

学部 固有科目	学科学科	実験・プロジェクト系	21																				
			メディアデザイン実習A	メディアデザイン実習B	メディア工学入門	メディア工学実習	工房実習	プロジェクト研究	プロジェクト研究基礎演習	プロジェクト研究応用演習	卒業研究1	卒業研究2	情報技術1(ICTの基本)	情報技術2(ICTの応用)	人工知能	データサイエンス	情報と通信の理論	暗号とセキュリティ					
学部 固有科目	学科学科	情報技術系	22																				
			プログラミング基礎1	プログラミング基礎2	アルゴリズムとデータ構造1	アルゴリズムとデータ構造2	映像処理1(CG)	映像処理2(画像処理)	映像処理3(Computer Vision)	音響メディア1(Sound Design)	音響メディア2(Sound Informatics)	音響メディア3(Aural Technology)	プログラミング応用A	プログラミング応用B	プログラミング応用C	メディアデザイン1(Digital Art)	メディアデザイン2(CG)	メディアデザイン3(CAD)	メディアデザイン4(CAE)	情報デザイン	Webデザイン	アルゴリズムックデザイン	グラフィックデザイン1
学部 固有科目	学科学科	メディア処理系	23																				
			クリエイティブ・コラボレーション	メディアと地域社会	ICTとメディア社会	メディアとグローバル社会	メディア工学特別講義A	メディア工学特別講義B															
学部 固有科目	学科学科	メディア社会系	24																				
			25																				
学部 固有科目	学科学科	高橋寮	26																				
			27																				

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる単位数の限度	26	26	26	26	24	24	24	24

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

P25の全学共通科目一覧表に掲載の科目のほか、以下のとおり正規留学生専用科目が追加され、卒業要件が変更となります。入学後、4月に開催される「正規留学生ガイダンス」に参加する必要があります。

学年		科目群		追加科目名		卒業要件 (34単位)		
教養発展科目	学びの実践	発展ゼミ				2単位		
		テーマ指向型科目						
	外国語演習	英語						
		第二外国語						
教養基礎科目	グローバルコミュニケーション			大学生のための日本語ⅠA (1) 大学生のための日本語ⅠB (1) 大学生のための日本語ⅡA (1) 大学生のための日本語ⅡB (1) 大学生のための日本語ⅢA (1) 大学生のための日本語ⅢB (1) 大学生のための日本語ⅣA (1) 大学生のための日本語ⅣB (1)		4単位 *a	左の単位以外で全学共通科目のいずれかから18単位	
		外国語基礎	英語					4単位 *b
			第二外国語					
		学びのエッセンス				*c		
		テーマからの学び						
				総合日本語ⅠA (2) 総合日本語ⅠC (2) 総合日本語ⅠB (2) 総合日本語ⅠD (2) 総合日本語ⅡA (2) 総合日本語ⅡC (2) 総合日本語ⅡB (2) 総合日本語ⅡD (2) ビジネス日本語Ⅰ (2) ビジネス日本語Ⅱ (2)				
				日本事情ⅠA (2) 日本事情ⅠB (2) 日本事情ⅡA (2) 日本事情ⅡB (2) 日本事情ⅢA (2) 日本事情ⅢB (2)		4単位		
		スポーツ・健康	スポーツ実技					2単位
			学びのエッセンス					*c
			テーマからの学び					
自然の探究	学びのエッセンス							
	テーマからの学び							
人間の探究	学びのエッセンス							
	テーマからの学び							
社会の探究	学びのエッセンス							
	テーマからの学び							
複合領域	学びのエッセンス							
	テーマからの学び							
その他								

- 「大学生のための日本語」において4単位(*a)を超えて修得した場合は、下段(*b)「外国語基礎(英語・第二外国語)」として卒業所要単位数に算入されます。
- 第二外国語の履修登録はCHUKYO ALBO上では行えません。希望する場合は下記(1)(2)(3)を確認の上、履修登録期間最終日までに教務センターまで申し出てください。
 - 母語を第二外国語として履修することは認められません。
 - 選択した同一言語において、外国語基礎A・Bを修得しなければなりません。
 - 外国語演習Ⅰ・Ⅱ及び外国語応用Ⅰ・Ⅱを履修する場合は、それに対応した外国語基礎A・Bを両方修得済でなければなりません。履修希望者は必ず初回の授業に出席してください。
- 「総合日本語」については、下記の組み合わせで同時に履修登録をしなければなりません。

【組み合わせ】

 総合日本語ⅠA+ 総合日本語ⅠC 総合日本語ⅡA+ 総合日本語ⅡC
 総合日本語ⅠB+ 総合日本語ⅠD 総合日本語ⅡB+ 総合日本語ⅡD
- 6領域「スポーツ・健康」「自然の探究」「人間の探究」「社会の探究」「複合領域」「グローバルコミュニケーション」「その他」の講義科目(*c)について、選択必修科目ではありませんが、バランスよく履修・修得することを推奨します。
- 「ビジネス日本語Ⅰ」は3年次秋、「ビジネス日本語Ⅱ」は4年次春の配当科目です。
- 履修について不明な点があれば、必ず教務センターで確認してください。

時間割を組み立てるフォーマットです。科目名と単位を記入し、各自で時間割を作成してください。

1年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

2年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

3年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

4年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

CHUKYO
UNIVERSITY